あり、撤兵は一に支那官民の人を、然心軍隊は漸次撤退しつのも、然心軍隊は漸次撤退しつのもの。

一般なり 6に至ったが、理事會と 「整て広臓した。このためឈ職は表だ を登散した。このためឈ職は表だ

退を評価

本首峰正常氏(冷媛理事)二十二 日晩奉天(人 奥村慎次氏(冷媛理事) 十三日入港はるびん丸で来連 中道忠夫氏(海軍燃料解製油部 長)同上

脚院電ジュネーサに飛ぶ。 買下れ後援せん」で、群ハム で表に三百萬の在標準人

正、大野の

百萬の在郷軍人あり、

りても選を継続した。 様率の日から一径は違人のた。及 が、正臓の日からは違人のた。及 を、逃って行かなければならなか。 でも変配務の天無さ、石艦さが一径 はきずいふ城内の道 からではきずいか成内の道

外だつたので、だとかに皮臓を抜っつつには疲労れてるたからでは

かれたのであった。

一つの部屋へ集つて、三人はも

してるたが、その大趣祭の入口へ

期限附き撤兵決議を蹶ツ飛ばせ、と

に理事會困惑

十二二一發」理事會

【ジュネーザ廿二日發】四環理事 會の決議は日本軍の撤兵を支那の

ブリアン議長語る

藤炳文氏たダウリヤを距る八十 大鷹里の地點に勢農軍要人さ舎 見せしめ武器弾薬の供給を約束 した を作解には従來無かつた高 り他が準備された事

本大谷チエ子(大谷底順果塞司令 官夫人)家族「纒めて夾連 電夫人)家族「纒めて夾連 番用上朝吉氏(雑子高等務主任)事 務打合せのため二十二日來連

々哈爾方面危機迫る

プラ氏は同時支那警備司合 地震常時滿洲里勢農領事ス 一五日張海嶼軍が齊々哈

一、黒軍飛行機が二十一日来張軍 が準備された事 特砲が準備された事 を中心こする戦局は経々軍大危機 を中心こする戦局は経々軍大危機

蛇角

路支合作を圖る

被要求せの。 脚院附きの振り停止もまた何。

लिस्ट्र

兩國首腦者屢次會合

脱監理事會の裁定案は此の一事

中 ういふ部落脈小市側があり、そこけで灯してある燈の光が、獣百ҝがなない。 音車角城内に生消してある。 略 音車角城内に生消してある。 略 1 一径は呼吸り疲勢れる迷あるい りっぱい呼吸り疲勢れる迷あるい

なられることは、出来もしなければ為てはなりません。お出になられることは、出来もしなければ為てはなりません。お出にならしいれたますまい……では今暇はしいたしますまいがが通

代表が斷乎反對

歌大・10と1年間があるが最近祭 を歌において歌文献画の能 があるが最近祭

の撤兵出来るか使うか。 ち大趣樂が、行手にあたつて蟾磨する、ソンな保険を能して、警察さる地獣に窮く、そいり立つてる出来の保険・口髪ばかりで保険するやうに、山のやうに非常に大田楽の保険・口髪ばかりで保険するやうに、山のやうに非常に大田楽の大地樂が、行手にあたって蟾磨

本は膨下を引つ返して行った。本は膨下を引つ返して行った。

りませし

まテルの部屋さして完備してる 成程立派なホテルであつた。

て観響を氏さ触かに合作して観響を氏さ触がに合作

日支兩國は結局

承認するだらう

に撤退を開始し漸次撤兵の方法により全軍隊の撤退が定められたる次の理事會開めし、本次が設立を開始し、本次が、大阪のでは、大阪のは、大阪のでは、大阪のではないではないのでは、大阪のではないはないのでは、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大

コまでに是非さら完全に撤兵完了せん事を希望する蛆のよい要素を含した、耐して日支双がさら決議案のなが之に期限を附す事は不可能である」を反素の愛明を含した、支那代表は能兵期限の監督は「次の理事會までに撤兵する事を約束出來ない、日本は善意を以つて限附撤兵要求の決議案を提出した、支那代表も今決議案を手にしたばかりで政府の瓢舎を開

で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 が表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 が表は「水の理事會までに徹長する書とりました。 が表は「水の理事會は自安総事解決方式に関う意見一致を見たが支那及び日本の同意を得るに至らなかつた。 は「理事會は自安総事解決方式に関う意見一致を見たが支那及び日本の同意を得るに至らなかつた。 なにアメリカのオブザーバーの出離に反響したのであるが、 とはアメリカのオブザーバーの出離に反響したのであるが、 とはアメリカのオブザーバーの出離に反響したのであるが、 とはアメリカのオブザーバー、エルバート氏に對する歡迎 とはアメリカのオブザーバー、出れバート氏に對する歡迎 で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書とりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書きとりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書きとりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書きとりました。 で表は「大の理事會までに徹長する書きとりました。 で表は「大の理事會を認定した。 で表は「大の理事會までに徹長する書きを翻訳に理解した。 で表は「大の理事會までに徹長する書きを翻訳に理解した。 で表は「大の理事會までに徹長する書きを翻訳に理解した。 で表は「大の理事會までに徹長する書きを翻訳に理解した。 で表は、一本のである。 で表は、「大のである。 である。 できなる。 である。 でする。 である。 でする。 でかる。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする

日三十二月十 野 米 鈴 人行幣 給代喜本綱 人情報

一後細目討議を行ふ

り強硬さなったものである報に描したため繋の学句は最初よ

文武聯立で

伊藤順三

史

郎

作成中艦々戦闘行為再致の窓天電 撃會に控撃された決議家は画際職 事會に控撃された決議家は画際職

議案
ら我

日本軍

統一會議の

偵察機墜落

中林特務曹長戰死

前途樂觀

上前と同様

が代表部が理事會に通告

この三地點に在る日本軍は千三百名である

なほ公表されたさころに依るさ今日までに

り飛行機は筑波町二の空地の材木 オ氏は新内閣を組織したしたる結果や幸にて維接み版さな 大統領パスカル・オルリス・ルビ したる 経来で幸にて維接み版さな 大統領パスカル・オルリス・ルビ

を母じ続天飛行場に摩索の際線四 配の敵賊調査の総合により低物を でお妻夫奉天電話 を母じを中途中において養動機に故聴 令部養夫奉天電話 や様物を暫長の飛行機は確修寺が 上に密敵、機能は大砂し中棒特勢

墨新內閣成立

案の字句硬化

京則に開し日支直接原則に開し日支直接の 上の

日迄に

撤兵完

手蓮

事態の 特楽滿州事情の變化せし場合は

・ 態に来ざるため自然が兵間駆は少 のなる事は 押切つて送も常兵する程の急迫状 た解は悉し 中で切って送も常兵する程の急迫状 た解は悉し

張·黑兩軍對峙

の充實を 滿洲における將來の日 3

わが軍部實行に

を が、 は なが、 日本側は 石家を二 一 後五時理事會再開期 日及日 を確定するため直

對日態度は 强硬方針

二十三日膨東代表と共に除京する 秘密側に飛行せて兵衛に随つた、 蔣氏上海へ

原、農東殿派師に野日が趾は他く は 京、農東殿派師に野日が趾は他く は まで強硬の態度を採るこさに意見 の一致を見近朝艦、陳次代氏等は か

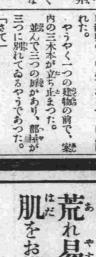
する機様である ・ に響くこの理由で南京派は軍隊の、 ・ に響くこの理由で南京派は軍隊の、 ・ に響くこの理由で南京派は軍隊の、

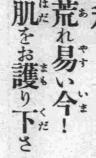
高く佛と然に、延びてゐるやうな しかし一行の歩いて行く道が、

を協
この一般の本通りと見えて、一番
この一般の本通りと見えて、一番
この一般の本通りと見えて、一番
この一般の本通りと見えて、一番
この一般の成へ下り、更に反對照の
で、一同は在窓を解って、まづそ
の場の成へ下り、更に反對照の
で、一同は在窓を解って、まづそ
の場の成へ下り、更に反對照の
で、一同は在窓を解って、まづそ
の場の成へ下り、更に反對照の
で、一同は在窓を解って、まづそ
の場の成へ下り、更に反對照の
で、一同は在窓を解って、まづそ
の場の成へ下り、更に反對照の
で、一同は在窓を解って、まづそ
の場の成へ下り、更に反對照の
で、一個大学がよす。この一般は、雲原がたのも
の場の版へ下り、更に反對照の
でこざいます。何處へ行かれや
こと他とつこざいます。何處へ行かれや
こと他とつこざいます。何處へ行かれや
ことを表しています。一般に、雲原がたのも
のが形の際の中に、小市街
一定を正さいます。一般に、雲原がたのも
で、一切を表すが、こ的由にお
で、一切を表すのに、この一般だ

あなたのお肌の

悪生者・





更に若々しく美しくする色を白くキメ無からである肌となし

して最も合理的 皮フの実養に動い 大性を大け なを載して研究

ロカを持つて居 ものの香気と実 ものの香気と実 れた化學的製

て一滴の御使用

・ヒゲそり後 ●白粉のとき水

小見服 ・湯 ・湯 ・湯 ・湯 ・湯 ・湯 ・湯 ・ り り

物一家一规!

香水の代りともなる…

6.10-F6

切れの無もなく朝来の淵識も名残しなく時れて眺

が「日本の信祭機だ

一見もて継続の場が 香新たな暖土の裏標に

南西の風晴一時雲

天気陰能

秋和だ、定頼前核概脈よの空高く終弦の飛行日

1日午前九時東大寮飛行場に乗る。の日報選ばれた天候も豊と

服客機に便乗な許された記者は廿日本航空輸送會社の臨時軍用職名

眼下に敗殘兵の進路

大々的に宣傳する

話》 後白山方面:

衝突、

の操縦せる貨物に動車が衝突し計

電園で薬即賣

遼河が白線を曳く

以来王山哲の部下が織 で北道した、前がには で北道した、前がには

った様がもなく依然神の腹隙だ、けて酸に下米を見下したが別に膨

部補檢證の結果プ

南側の微心地に我患寒野死者の造ったがふれが、生性師を及れた代表し一ちつて幕僚に重る微粉の勢か働し更にケ月除に重る微粉の勢か働し更に

東ないりて多門師駅長

秋晴の曠野を奉天から長春へ

軍用旅客機便乘記

大変特體ニ十三日整3 滿州事變 武氏が指揮 一時より大連輔社に放て索管術念 英氏が指揮 一時より大連輔社に放て索管術念 英氏が指揮 一時より大連輔社に放て索管術念 英二時より大連輔社に放て索管術念 英二時より大連輔社に放て索管術念 英二時より大連輔社に放て索管術念 英二時より大連輔社に放て索管術念 英二時より大連輔社に放て索管術念 英二時より大連輔社に放て索管術念 英二時より大連輔社に放て索管術念 英二

支那側で

入營者祈念式

電元に整する見込である 電元に整する見込である 電元に整する見込である

を事さなり特徴に解ふ響である を事さなり特異三郎な脚集し密報 者特別公安院で命名し黄氏自ら標 であるとなり特異三郎な脚集し密報 を事さなり解兵三郎な脚集し密報

馬賊團が跳梁

綴方章話標語各二 ▲審查委員 赤塚岩次郎、石森延縮切り期日 各學 ▲愛表 昭和七年一月末日愛表

四洮線不通となる

昨朝玻璃山茂林間に現はれて

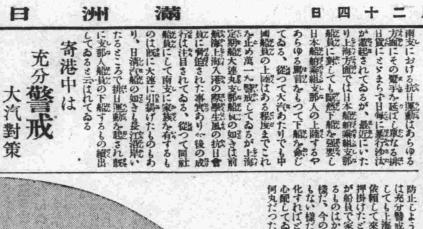
高貴藥疾

ルを破壊する

亂石山の衝突

充分警戒

大汽對策



上陸するご下船强要 抗日會の魔手のびる

『上海廿三日發』 排日激烈のため閉鎖した『上海廿三日發』 排日激烈のため閉鎖した 支那船員を脅迫 佐藤氏死體 軍隊を慰問 状況を一々職の入港

見佐藤忠氏の死艦が未だ養見され 域子の彫刻兵に憶むされた消滅社 が表が養見された消滅社 懸賞捜査 福島縣を代表



職活長佐藤澤一氏の一行五名が來 あ市長佐藤澤一氏の一行五名が來 り心ばかりの贈物をしたいさ思 り心ばかりの贈物をしたいさ思 りではかりの贈物をしたいさ思

でに學務課へ學校以外は所管内と提定と(一人一篇だること)と選定と(一人一篇だること)と

また各地の

慰問品

滿大

B 市

社所

作文を募集

北寧線列車

また襲ける

興城、白廟子間にて

土匪軍が二時間掠奪

(1)小學校經常科 以上兒童(2)普遍學 以上兒童(3)公學

より戸外テーの代文をに從ひ全滿小學中等學

出前迅速 洋ライス物 一、三〇 定 食 〇、四五〇 で 内 〇、三〇 党し、示

島の婦人會支部より九個の包みが いた事で飲地運物部では直 いた事で飲地運物部では直 いた事で飲地運物部では直 いたのは整備一匹島緩楽 いたのはをでしている。 内地における國民未識の心歌しは 一十三日入港はるびん丸で入るや 二十三日入港はるびん丸で入るや 一十三日入港はるびん丸で入るや でが約四百十 名標原兄島宮城各地の婦人

けふ大連着 右着 特身 の 者衣 長長 お引受申上に實費にて

母乳代用に

でございますから少しも早く御來店をお待して **するものばかりで** 特に期間中に限つての特實意匠品質共に御婦人方の御嗜好にピッタリ適合 世一日二 廿四日ヨリ五日間 午前八時半開店

0

から協和食職権当年で全計員によってこれが信はれ又納三萬枚の歌 **大連運動場** 一囘市民體 ル 大會

記に豊夜東行でその準 行されるが、開催日切

南支の

日本領事館

掛日

で閉鎖狀態

学五百元 学五百元

既に公式閉鎖四ケ所

競技規定 參加規定 ★競技回数 勝敗の如何に拘らず三閣體この
★競技回数 勝敗の如何に拘らず三閣體この
芸へAB兩組へ準備委員に於て適宜ABの二子、AB兩組へ準備委員に於て適宜ABの二根とこと

記日程で谷地に続て徒のうち戸州生活電影の

一會日程

申込方法

みのこさ(必信は参加證に代ふ) 中込は往復はがきに闡憶名参加氏名(正選手申込は往復はがきに闡憶名参加氏名(正選手

日 電気変数を の限り間に取り、同事務所の料理 の限り間に取り、同事務所の料理 の限り間に取り、同事務所の料理 製造元 め申します 店理代

奉天佐 藤廣 濟 政府白檀事養局

康マスコット

品質に於て値段に於て常に大連一を目標に努力いた 是非例實驗下さい フタ 五 電話三四七七番 《二二 新 河

しい

レミナコドス 等指士博協会威権の界斯

年一度の大亂責日! 世帶道具のお買物時

いろいろのここが胸の中でかけ

東治のために難しませう一き歌明書を養表してゐる『嘉長いふ順に東治では心配細用さズラリとスター連をならべて自治の尾上蒙太郎、原駒子、木下及業、配脂綿や等が遊社

で拭いてゐるさ、

てくる。頭がひとりでに続れ、ジーツを繋の挺から瀕転に

東活スター

いるないできるとお話をもしなく

、それ等の四人共

卅

日 で

商品を素的の安値にて賣出します。

冬の御支度は是非共この際に

最も安値時季に取入れました大量の

今秋の如き値段亂調子の折柄

世

五日 1

してゐるであらうか)を領日の

で、 では新陣容充質に努めつくあ 東流では新陣容充質に努めつくあ 東流では新陣容充質に努めつくあ 東流では新陣容充質に努めつくあ

中屋の

東活新入社

見ると題の土の上に観色の月の光いやうに出来てゐた。伸び上つて牢樑子の中には日も月も射さな

「親や、機い見供のこさが眠る者」

正月物の郷倫かなしてゐる、長 正月ものでこの外谷監督共戦し、 につぐ子世澤第の「佛太郎笠」。 につぐ子世澤第の「佛太郎笠」。 に可ぐ子世澤第の「佛太郎笠」。

、荒の値

沙州

職「こうろの様火」は正月華々も 様の御獣交御下勝五十周年記念映 を事者教育機能部委機になる五 の御獣交御下勝五十周年記念映

二號

三號

發賣元 三井物産

見よ!!

暗

流

阿

(223)

生

田

そばに深麓が、月光に濡れて立つそばに深麓が、月光に濡れて立つたが、多平が、幸屋かられてるさ、一人の腹値した男のとばこれで、よろけるやうに 月夜の夢二五

「多年」」「「多年」」

でもなく、標準の吸入さ話をするでもなく、標準の吸入さ話をするでもなく、標準の吸入さ話をする 機能な家庭に、 で月餘りの雪住 さ、それでもなほ耳を着さ、それでもなほ耳を着ながやかな繋である。 でからい。 でんからい。 でかの吟味はなからい。 (そら取か)

「は、はい」 「する分選屈であったらうの」 でもないやうに思へる。

日活で早くも

正月映畵準備

数つてやるのだ」 の手前は點のやうに點く見えて、蛇の月の光が光つてゐるので牢 多半の手に一つの手が備つた。 「さあ、こ、が開いた、這ひ出す それは極めて似い壁である。 心配してゐるやうだが、 カチャカ 别有冰藥 笑堂藥房

付價提

供品

見

切

品

正價の半價御子様服オーバー番・種豐富

警 城 町

^{出品肌}着服地靴下

電电

接続ニーニーの番

九五三

国国国

風佳 流味 550

名物モ店か本舗

絶大
れる
賛辞
と 好評を博

¥ 19.50 ¥ 21.00 ¥ 40.00 ¥ 20,00 ¥ 12,00 6085 226**6**0 代理店 山葉洋行 池田

別珍足袋各種 南部表各種 蛇の目傘各種 防寒長靴各種 ダンス履各種

尚一圓以上御買上のお方に記念の粗品を差上ます是非御覧下さい新安値を「犧牲的見切品を皆様の御引立に報る爲絶對的大廉賣を致します。

很速町三丁目

一醫

電五七一八乘

移轉御披露大奉仕

見 倉 切品 庫 整 御早 理 0 投 賣

日 H 日 間

文房具 卸小賣商 大連市 伊 勢町浪速 町角

話五四三

十四日

御婦人

八御子

工

用品

あのではないかき歌ふる前とないではないが、谷瀬野地の実際に大ではないが、谷瀬野地の実際に大いのではないが、谷瀬野地の実際に大いで、谷瀬野地の実際に大いではないが、谷瀬野地の実際に大いではない。一気に燃液で

大宗『大豆』

どうなる?の

今冬の出廻順調?

政権が出現したとしても、特別のに日本財外の小製技能をも打破つ 世界に際心である。満洲大豆蔵大の情報である。それを共に日本がこ 要地さの塩へ他は二重の難きなせ 込んであたフランスやアメリカで である。それを共に日本がこ である。それを共に日本がこ である。それを共に日本がこ である。それを共に日本がこ である。それを共に日本がこ である。それを共に日本がこ である。たれては、か、る郷目的政 軍を加ふるに至っては、何れの方 の腫らない。かくの処とであるの一方南南に続ては君皇が充分の 世別ではないらうか。さりさて出 満れてるる。如何でか他の同とが であるを推って居り、既に海棠教と 世念ではなからうか。さりさて出 満れてるる。如何でか他の同とが である でかられる。 世別では北京るものとは著いたが、 としてゐる。如何でか他の同とが である。 である。 はの事でである以上は、大豆が更 か、特別の職部が既に危機に直面 根拠 こでかられる。 ことが出来ようぞ。 に一段の安値を進るは自然の繋び イドを有つ。それだけに今大の音楽には こからり。現に事態直後の観像の 外恐慌に際しては、薫大な多く響いない。 かくの処とす ない 大豆が更 か、世界的際語であるといふブラ 趣りにかられる。 であらう。現に事態直後の観像の 外恐慌に際しては、薫大な玄影響 かくなさ ことがられる。 であらう。現に事態直後の観像の 外恐慌に際しては、薫大な玄影響 かくなさ ことがられる。 である。 ないとが出来ようぞ。 数値であるといふブラ 趣りにかられる。 であらう。現に事態直後の観像の 外恐慌に際しては、薫大なる影響 かくなさ といられる。 であるといふブラ 趣りになる であるといふブラ 趣り

か預引金ふ

選は前年度に於ては膝支閣僚の残! 一工千餘應の大激減を軽してゐる、 二千餘應の大激減を軽してゐる、

満鐵社線扱ひ

特產貨物活況

なほ出荷の激増を豫想

港輸出數量

の準備中なり

武安鮮銀大運支店長談

語る
一代について武安館銀大連支店長は一一億二千五百萬弗は既に大部分を語る

11111 日 | 1月 日 | 前日 | 1月 日 | 1月 日

滿洲 **軍利引上の氣運へ** 銀行團 鮮銀大連支店利上げ斷行せば

増加た物語

他もこれに追從せん

現法を得つたが、備二十九日轄崎 をかなら總領一億五百萬圓の迅貨 で真に二、三回の現送をなす模様 を対し、の手五百萬圓の正貨 で真に二、三回の現送をなす模様 でする

大阪綿糸

印度麻袋 新旗積 云留比次分出 瓣筋直積 云留比次分出

神戸期米

| 中間 | 10円 | 10円

更らに正貨現送

早くる朝鮮運送

危機に逢善

マラウェ

泛(計計刊

出二一時時時

業務の不振、經濟大膨脹

戾廢止 脹の

Ŀ

發

推進文 する決心でゐる、突形なんてものはこちらばかりそのつもりでゐてもあちらに突渉の意見がない。古典でない相談だから仲々むづからい、幸ひロシャは解ってくれて風るさ思ふ、今日は出來たら隅東殿を請問しなるでく早く率天にゆきシペリヤを流く早く率天にゆきシペリヤを流く早く率天にゆきシペリヤ

脫退卸賣

場外取引を開始

當局の措置注目さる

は全く一致と國民の輿論の支持 変か差控へるが政府部内の意見 変か差控へるが政府部内の意見 変か差控へるが政府部内の意見 変か差控へるが政府部内の意見 変か差控へるが政府部内の意見

貨物簽浴

一、鮮巌は卅萬風を朝運に融通したが最近通運に貸した形式により四十萬を出てなるのでこれ以上金融は望まれない事会社の前途に総制の確かまいてるを整く顧る窓材料の概出で転送運送。 業者

新配二十三圓九十錢

株(保合)

. 章 11 11 11 11 立 立 11 11 11 11 立

相行けもい

分の一、國運四分の一、 根常の好成器を 京記士車、玉蜀本 見たが總取り始めて 東上が總取り始めて では 東上が總取り始めて では では では の好成器を が成器を がのが成器を がのが成器を がのが、 がのがのががのが、 がのが、 ががが、 がのが、 ががが、 がが

満洲特産物の・

需要漸やく喚起

本月末より來月にかけて

相當の取引行はれん

また一般業者もこれに應する模様 また一般業者もこれに應する模様 動通り期軽運送界は通運の概占 目的通り期軽運送界は通運の概占 というないである。 取り止めになった。農産産品では水大連農食では水大連農食では水大連農産物並になった。

の産地構場飛騰のため滿洲大豆に一接日本の財界なも不安に罹ららめ替の繋線さ銀貨配騰による態度上 たが、これさ共に確倒の暴家は直替の繋線さ銀貨配騰による確認 黙する歐洲筋の貨量は全く料総し

でである。を需要地筋の唱曲まで接触した。 を表力なく、さらすれば軟化しつ、 を表力なく、さらずれば軟化しつ、 を表力なく、さらずれば軟化しつ、 を表力なく、さらずれば軟化しつ、 を表力なく、さらずれば軟化しつ、 を表力なく、さらずれば軟化しつ、 を表力なく、さらずれば軟化しつ、 を表力など、変がしまる大型ので表すである。を需要地筋の唱曲まで接りに を表力など、変がしまる大型ので表すである。というでは、 を表力である。というでは、 を表力では、 を表力では、 を表力では、 を表力である。と、 ののできる。と、 ののできる。というでは、 を表力では、 を表力である。というでは、 を表力である。というでは、 を表力では、 を表力である。 を表力では、 を表力である。 を表力である。 を表力では、 を表力では、 を表力では、 を表力では、 を表力では、 を表力では、 を表力では、 を表力でも、 を表力で、 を

地强保合

出來高 期 是 是 株 式 株 式 株 式 株 大瀬三十銭安、鰡新四十銭安、鰡新四十銭安、鰡

574.7 7.944.4 計 111.655.3 2,142,3 709,6 747.4 1,204.9 11.450.8 1.944.6 15.7 1,251.1 15.0 525.5 71.9 255.5 42.6 23.0 177.2 . 32,0 57.2 23.0 133,0 13.4 177.3 34.4 326.0 341-5 287.1 毅 29.783.5 680.8

1,719,9

1,200.8

3,267,5

5.9

591.8

280.7

3,286.1

171.9

粕

油

粉酌

子

豆 油 其他ノ油類

麥

燒

麻袋 産地休舎明けは市況駒り を入れ銀塊三ポイント安乍ら地場 参票八個乗復市ご強調を入れたが 常市は南内極めて関散にて氣配し 保合南駅である 555.4 電四四六三番 293.3 251,9 1,563,2 77.9 1.380.3

金早金早合延定 漫 取 額受額手計引期

東海道五十三次 東海道五十三次

東小学

ヤリであったが引は小聢りで結局 保含ル示し東京短期の東新は四十 鏡安に寄ったがアト二園翔み高の 百六園至を入れ常市も十銭安に寄 ったが引は五園六十銭高さ急騰し 締新、大新も三園摺高さ是騰し諸 株共即時計算となった

手形交換高(计三日) 金 犬や枚 1、1元、2、0名回回 金 犬や枚 1、1元、2、0名回回

大阪棉花 等 付大 引

東 1013 10110 1020 1020

利ならんとする形勢に在るに鑑み機に取締金殿にもたものを蘇されてゐるてべらさの総合を養した。かさは観點事事會に然て日本が振日運動取締或に政府機關人民にして民日殿性、出平廿三日登」蔣介祥氏は最近全國各機關に點し排日運動取締或に政府機關人民にして民日殿性

聯盟の空 氣 亦支 那に不 は即時脱退

に入れていふが、撤兵と懸 来交渉とは別問題である。在滿邦人保護に直接交渉の 如何に拘らず自本政府の責任で あり支那政府が確實に代行せぬ 限り日本軍の手で行はさるを得 のは明かである

東京二十三日養」本日の定像階一

わが對策訓令

排日運動

聯盟の空氣不利の形勢に鑑み

將介石氏全國に發令

期限附撤兵には反對

聯盟の態度は無誠意

のが外務當局の意嚮

本も信賴を表明し

二十二日の理事會の經過につき報

將氏形勢次第で

あつさり下野か

再起の餘地を見極め

TT

一週間内にで

しも撤兵

代表に訓電

氏民主政治主張

第一次統一 新介石氏は舉國一致を

致を希望

一豫備會議

本を壓迫せんとしつゝあるのである、この間の軍閥を察知らた日本代表部は英國のこの火事派論遺口をにがあって巧みにブリアン議長を踊らせてゐることが明白となって來た、師な駐支英國や使ランアソン氏の南京における活躍は深に目立ちこの機會を狙って長江一際の融艦を通復着くは確立せんさする魂脈よりらて美国が自下戦一の棚手さらて援助らつゝある蔣介石、で美国が目下戦一の棚手さらて援助らつゝある蔣介石、で大大の神京における活躍は深に目立ちこの機會を狙って表が、神な財政を国の後の表が膨くまで日本に大大の神京における活躍は深に目立ちこの機會を狙って表が、神な財政を国の後の表がした。

(刊日)

馮自警局長

和

罷免

▲局拉街 劉賓蘭氏の率ゐる干五 隊である

失、以上は 照長官の 直層部 外に 騎兵一ケ中隊 を編成

高市長は去る 越市長は去る

陸相の晩餐會

長江の商權恢復

ラ公使の目覚まれ

表に踊るブ

省政府の 維持會を基礎 を見る響であった。 を見る響であった。 を見る響であった。

首脳間で懇談

野田準備肝要 11年備肝要

激勵電報

芳澤代表に對し

鈴木大將が

而から事態急なる時配置するに何の不常があらう、 餘計な切匙をするに於ては英國の撤兵を宜なほ駐兵してゐるのはそも何故なりや、滿洲に生命線を置く日本が條約上に許されたる範圍内にも充たぬ一萬四百のに果してお とう言動をなし得る資格ありや、千九百二十七年國民革命の際上海に英國が送つた兵は二萬二千にして現ましてお

要求しその假面を剝脱せよ

『寫真、上は駐支英公使ランプソン氏、下は佛外相ブリアン氏』

がなかつたためで軍人獨裁も之一、過去の革命失敗は民衆に組織を、過去の革命失敗は民衆に組織を、当日最後の決心が前に準備を にためで軍人獨裁も之里命失敗は民衆に組織

人會長鈴木大將は在壽府芳灘大東京二十三日餐』二十二日在鄉

一、最初から静間に希望を持つて、最初から静間に希望を持つてが、脱退に國際的孤立に昭り不利である立に昭り不利である力が必要である力が必要である。

満洲か 日本軍は予を

から追出

学良氏の要求により好いだれら本軍が予を の私有財産を大沽に

たが、壁良氏自滅の

三組を一分隊、三分隊を一中隊、

失いの色を見せて 「関急ざますから」

変りらしくぶつた。 佐枝子は解かぶひたさう

繁一は空戯に知って

でも一度いらつしやらない?」 さんでいらつしゃらない?」 そんな言葉に甘く誘はれ らないの?」

Charles Shirts の反抗(61) す

2趙市長出所 せず 1 一丁黄管楽長書ら同願に起き日本網でなら覧民饗産場さなす等ださ、「奉 百名学 獨立經營線は 老少蔣 穆純昌氏の率ゐる百二十較河 曲王斯氏の率ゐる百二十

日王总裕を財政廳長に委託が地方維持委員會は去る十月十 度に深遊し、東三省各鐵路局宛然北下の東北交通委員會では財政極

金布告か後し一般被税者の注意を推

全に市に弥漫され振山分 をに市に弥漫され振山分 をに市に弥漫され振山分 自宅にて事務 財政廳長布告

新生活(1)

地方維持會

で協議



「様しいでせう、あなた

米産減收の

邪気さなつた者が軽けされる縁で 救濟對策

開かれたが大要左の延く野菜を識売山の谷底越に北海道地方の米 施大減収に野する紫海線譜をは二十三日午後二時より農税管に燃て 十三日午後二時より農税管に燃て 、差當り各道縣の稲災民救濟基 金を以つて食料、種子を購入額 民に突附する 民に突附する

世界は一日登上際介在氏は飛行。 一下のは八年振りであった、会議は たのは八年振りであった、会議は たのは八年振りであった。会議は たのは八年振りであった。会議は たのは八年振りであった。会議は たのは八年振りであった。会議は につき遺憾の意た表し今後國鑑に 一、費日策の根本原則 たのは八年振りであった。会議は につき遺憾の意た表し今後國鑑に 一、費日策の根本原則 たのは八年振りであった。会議は につき遺憾の意た表し今後國鑑に といて、会議は につき遺憾の意た表し今後國鑑に といて、会議は につき遺憾の意た表し今後國鑑に といて、会議の につき遺憾の意た表しる。 につき遺憾の意た表しる。 につき遺憾の意た表しる。 につき遺憾の意た表しる。 につき遺憾の意た。 につき遺憾の意た表しる。 につき遺憾の意た表しる。 につき遺憾の意た表しる。 につき遺憾の意た表しる。 につき遺憾の。 にしる。 にし

義勇軍

河北省

黒部が

表される響

吉林政權兵力

「一人な一組、 ▲省城 衛隊五百、工兵二百、憲一へんさずるもの一の姫くである

氏地行整案

審議を急ぐ 本月中には原案作成 や実際し

5

「あのが

わかつて?」

關東廳の 指名される模様である

居正氏等を 近〈釋放

陳委就會は二十三日午後一時三十 『東京特館廿三日發』行政整理部 行整審議 平のからないのよ。そのまへに、是 から過ぎてしまはうさする彼に がき過ぎてしまはうさする彼に 非さいて 斑さたいここがあるの 「僕には、こみいつたこさは、わよ」

ちや失禮」

つき影響を進めた

人の話をきくには心臓器ですから 佐梭子はしよんぼりさなって 「手紙で、すつかり書かう

御話があるの に買へさうなお離な、これからさ 遊ってあさいふのに」 「東京廿三日登」政友會の深、島田殿駐職につき艦隊を送 田殿駐職は廿二日午後五時若機首。 「何を云つてられるのか、さつばを、前ってるばかりだから」 ちやないの?――式はもう旬日に 「そんなこさな、僕が訊くべき (13.1) C

「まあ」 「まあ」 にからがいできた 「イエ」「イエ」「アイエ」を楽一はあつさり答べて 下さる?、それともごこか、一緒で遊びたいのよ。遊びに來て 能は関も断頭、いろんなここでは はハッさしたやうに、

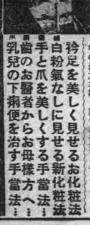
| 評判|

き方

大供服

冬秋から 代の結婚式 本学節物の美味しい頂き方面動服一揃と帽子の作り方面動服一揃と帽子の作り方面を 五種

メンてき



で披

若槻首相訪問 帰るでき全く確立

ついある『奉天電話』

政友兩顧問

月號に洩れなく添付

案紙幣の大棚さらて「奉天以」、流彙開委及び个後における日下上京中の江口流戦副總裁

由來滿洲には、世界に有名 程採掘資の廉い撫順炭が年

問じて來た常説明、小野議員の動 により路間の通り奏識なきもの をいまりとは、小野議員の動

能により諮問の通り美騰なきものとは、といいのでは、大きない、これのでは、大きない、これのでは、大きない、これのでは、大きない、これのでは、大きない、これのでは、大きない、これのでは、大きない、これのでは、

順之助氏に決定して異議のりまた内職長、第一候補者こして小川

表において既に斯くの如き**貧**

符幅の承認なるものも、言をしてゐる。而して條約上

れで質問終り同三時三十分閉會

事變の解決前に

撤兵するは不可

一大統織の観念したる後金本位貨幣制度に 大統織の観念したる後金本位貨幣制度に か「職氏無この記録に対意を持つて が「職氏無この記録に対意を持つて が「職氏無この記録に対意を持つて が「職氏無この記録に対意を持つて が「職氏無この記録に対意を持つて なほスチム

次第一日

機能が合せか済ませた機能が合せな済ませ

云はれてゐる

穫豫想

市會終了後大內議長は小心職之助市會終了後大內議長は小心職之助に推薦した、御就任の上市政に直載せられん事を望む、市會議長大內成美

華府へ

0)

本来井市長代理より製告 本来井市長代理より製告 産者推薦の件 理者推薦の件 理者推薦の件

、快見整西區長代理者梯米次郎氏は 「根源の為め十月二十日齢低し難に が市會で揺離された區長及び區長

推薦の各區長

米佛兩相の懇談

ラ首相相互援

助力說

滿鐵正

副總裁

當分滯京

本南山麓區長松尾利作▲霧島町 ■最代理者光瀬友喜 ◆沙河口南區 長代理者光瀬友喜 ◆沙河口南區 長代理者光瀬友喜 ◆沙河口南區 長代理者光瀬友喜 ◆沙河口南區

機裁は重要事が特置ニー

が此の決定す

第一候通

なく、主権國民に對して売も疎には、好うした武力行為な問題は、好うした武力行為な問題は、好うした武力行為な問題は、好うした武力行為な問題は、好うした武力行為な問題は、好うした武力行為な問題は、好うした武力行為な

小川氏推薦に決定

滿場拍手裡に全會一致可決

市長選舉の大連市會

さなる

川氏に打電

※會長、石脂地委副論長より昭和 ・本龍察と繋銭所應接室において鞍 ・山各記者厭代表者と會見、加酸性 ある記者厭代表者と會見、加酸性 ある記者既代表者と會見、加酸性 ある記者既代表者と自用のを所 ないる。

整綱所問題に

関し陳情、政府當路

士に答ふ

過

生を語る書

週間-豊島與志雄

所との苦願更が谷崎潤

天へ引返した

社

說

本は過去において完全に「流洲」かここを誇りこもしてゐる。日たここを誇りこもしてゐる。日

べたものであるが、これは消我 が監得権の惠澤を擴大し、日支 が監得権の惠澤を擴大し、日支 が監合を表して、共存共 を表して、共存共



科學者と信仰者

◆選くから来る刺戟を感じるのは 人の目さ取さです。いやな光に 関しては目をそむけるこさも、 関しては目をそむけるこさも、 でする現たちの取にはきうした軟 する現たちの取にはきうした軟

てくる音の波は、いやでも耳で一然はできません、空氣を傳はつ ◆ある一つ事に深くこればこるほどは分さいつしよに同じ社會にどは分さいつしまに同じ社會になる餘裕がなくなるさ云ふのは悪しいかな事態です。磁電、所かまはでご自分のおたゝきになる太安の部が、不幸にしてあな

大きない。 電車の走る管などは前ります。 電車の走る管などは前ります。

称へになって、 で街の騒音 ならっては、あるひは、やがてその脳の手に、やがてその脳の手に、やがてその脳かお れたけ迷惑をかけれたがない勢く

內地弱保合

沢の世間出

當市閑散

大豆軟

田^本野野田 弘 仁

治った天下の名樂バンザイお祖父様もお父様もこれで

吉林其後の狀況

ではなくて自然ではなくて自然ではなくて自然ではなくて自然できない。

拠哈氏に反抗するものもなく 城内の商人も大部分開店して

人心はます~安定

長大河內鹽耕子醫、土岐明子族院讓其鮮滿支無視察關第二

貴院議員團

コーク養成にワシントンに向った を変数点が開致ないのカフーグ を変数が表するフランス首 がでール氏は二十二日ニュー

佛首相着米

一十二一致」國際

鞍山製鐵所視察

五五五五五五五 九九八七六六 一〇九三六〇 〇〇〇〇〇

種性是

横に!そして夕テに!シュブレヒコール

三好

血兒ジョオジ淺原

多彩を極む

片岡

眞

春細田

民樹

正宗

…村山 知義//

大塚虎雄

保馬向坂逸郎

鮮製藥株式會

我赤十字に入院中の員傷支那兵へ所に攻撃治療中で被挙は日本戦闘及の人院中のものも之を奉天赤十字解院に攻撃治療中で被挙は日本戦闘及の

農界 最も苦痛を受けてあるの こさにならう こさにならう

本日裝膏

間

総条・大阪三品大引は前場引に比ら常限二風五十錢高中先三四十段の三十月限 一〇二七 二〇 田 一月限 一〇三五 二〇 田 米高 四十個

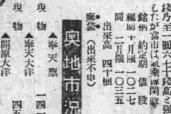
綿糸强調のおり

標金臺制

支那に躍る人々

石濱知行

| 古林特體二十三日襲|| 日本軍の
| 古林入城に依つて緊張なる震軍関
| が推修されたこさは全省民の均し
| 大狂専総勝でるさころで人心もま
| 大狂専総勝でるさころで人心もま
| 大田東部 | 大田和 |



笑つて見てぬました。

翼で發表編目も實物大で發表網方は全部を極彩色の大寫

編棒を初めて持つた方でも

です。津山の副隊で手をとるやうに脱れて新数の手機副物を自由に届む

編めると

0

木橋ゆじろ

それは兄ちゃんでした。

太あちやんも驚いて立ち上りま

「わあー」 マは腰軽で秘密に言ひ降かせましまから、タラく一直た出して起 マは腰軽で秘密に言ひ降かせまし

「何時まで泣いてゐる、まだ泣いてるか、しかたがない。又質つててるか、しかたがない。又質つてペパからさう / 吐られました「よく、なついた恥でしたものれてでありな事があつて今日死のなんて心思語ですれ」

では、このぐみの木のさころに行ってが、このぐみの木のさころに行いました。

うさの目のやうな、赤い質がす

松つまんで食べて見ました。

(日曜土)

兄ちや

が日のあたる土臓の自動にもたれいつまでも泣きました。 かから吹き新しく測がこみ上げ 次から吹き新しく測がこみ上げ で楽るのでした。 「喧嘩なんか、人きまに貸けても 噌ともありません」 家に離るさ、兄ちやんの耳に難 かつけて異れながら、それでもマ

ががは、じーつと起がいつまで掘って埋めてやらう」 も抱いてゐる死んだうさか見なが

ってそなへて臭れ て吳れました。 みんなで発

つて、毎年白い花、赤い質を繰か とた。 私と問らなく足がよくなつとた。 私と問らなく足がよくなっとはおいるのとないできま 豆の質がカラー~に発展に鳴っ でかみれ、冬が過ぎ、軽が來る さぐみの木は新しい芽な吹き出し ました。 その間に未はだんく大き せて質が鳴りました。 おない そして月日は廻りました。太あ

中なグルイ〜廻りました。その態毎にボロノ〜新しく瀕たとから落しました。 一種りました

親切な毛絲編物の全集 団にも、コレほぞ立派で る外

はないそ、激賞されて **ぬるほぞスバらしい**

ものです。それを 派附録さして無

人と女學生用の編物

種の編方

のでドコで

大評判大

赤坊と男子用の毛絲編物十二種の

躛行!!

出ても大きな池が少ら出て直伸え はで、池がなかく、出ないものやは はで、池がなかく、出ないものやは りするものは不良で、最後まで香 使つてゐて途中 ママはお花なちぎ

幸校

E

もうすぐ防寒コートの季節になりますが増さんの御用意は新しくコートを調整なさらうさいふ方のたり、一體に婦人の服餓界が戦やから、一體に婦人の服餓界が戦やからます人を選手になって行きますと、派手になって行きます。 地さいふのが出來ました、機業家では代性を教きつけずにはゐないに、近代が性を教きつけずにはゐないに、近代が性を教きつけずにはゐないに 大差ありませんが全にこして世の大差ありませんが全に変しく思はれます、理は昨年で大差のりませんが全にこして世の

+

二月十年

四十前後向に赤を配色

2

スタイルに洋服の影響を受ける

える 婦人防寒コ

荒れ性の方は

白鹼を選ぶこと

それではドウしたら

良否が判るでせう

か

るやうなものは不良記です

沙州

海河

▼…存職が勘めて見て舌を刺る するやうな辛味のあるものは加里 するのが良心で不良心で惨味のあ のが良品で、表配がざらくし法 を続のあるものは不良です ▼…良い品はごんなに香りが强 マーも決して刺激性を帯びてるま せん かけの割に重い くし混ら

混ら あ里**** ▼…また除り柔かすぎるものや 總動員して 冬の健康増進 を前 に就 (3)

(可認物便郵種三第)

主人としく なりましたが値 すれば八九風であたたかいコート いけません まり倫一割から一割五分茂の下漆 うないと仰言れば倫二三割やすく 入れて全部溶けて後に健しるもので不良なバレスやフラットの想裏をつけ む婦人も今年はフクフクさあた。 へ… 不総跡の港じつてあるもので不良なアレスやフラットの想裏をつけ む婦人も今年はフクフクさあた。 へ… 不能がの港じつてあるもので不良ないとなった。 かいをがすごせやうさいふもので です でもし質用一転ばりに無地メルト す (三截調べ) し ▼…碳酸を能つてアルコールに 人れて全部溶けて後に健・残らな へれて全部溶けて後に健・残らな 不純物の混じつてゐるもので不良

もなく香りが縦の外まで頃ふもの一下月候はずにおいても傾等の變化 マルくしてるます

カ月頃から十月中旬までは水泳をカワシ摩擦、西式管梁は日課だ、東ワシ摩擦、西式管梁は日課だ、 さいでは長して寒は戸外運動一場で は対さしてスケートだ、十年ばか は対きしてスケートだ、十年ばか 年、青年、好子を んでをを待つやうに 活の最も朦朧される スケート等の順趣な さ日光さに熟まれた い上に寒氣を征服す

があるものは不良で するのは混合 中透明の斑點

期間

十月三十一日迄り

九日間

田夕

任 責

物な含んである譲歩 物な含んである譲歩 かな含んである譲歩

入連市磐城町(大日活)向ヒ 正 其外總桐三方桐簟笥、鏡臺 格安品色々澤山陳列

週年店

ださ

札 方

金 Ξ 尺

本三方 二ツ重釣洋服三尺 四 尺 七

く製業 壱九街

型百種の編方を悉へ極彩色の大 賈直 のある毛絲 王集を贈 で發表した大附

男兒用の新型毛絲編物二十 中四種の に関する。 に たいつの錄附大號月一十友之婦

一台河駿田神京東 に登破変戦の結集内一名直線生れ 一に登破変戦の結集内一名直線生れ 一に登破変戦の結集内一名直線生れ 一に登破変戦の結集内一名直線生れ 一に登破変戦の結集内一名直線生れ

(日曜土)

軍用列車に便乘 現場に急行 **拉月を吹きまくる寒風**

撫順に於る

を昨年を比較するに五年一月より を明光統第四位に落ち悲戦する處か 一般居住民はまクノである、最 を昨年を比較するに五年一月より を明本を地域で全後は大に各声野力是 である、頭の娘き繋ぶべき歌戦者 まの大波域で今後は大に各声野力是 である、頭の娘き繋ぶべき現象版 である、頭の娘き繋ぶべき現象版 である、頭の娘き繋ぶべき現象版 である、原の娘を関東し続くすぎた十月 である、頭の娘き繋ぶべき現象版 である、頭の娘き繋ぶべき現象版

撫順縣下の兵匪

は一次では一二日午前祭時十分をデルーでで、 一で来たので後野童、観音山間の南で、 で来たので後野童、観音山間の南で楽がしてない。 で来たので後野童、観音山間の南で楽天を も後されて竹町、 た花藤崎内に置入つ で楽歌音は底々を彫ずないことを ので、 た花藤崎内に置入っ で楽歌音は底々を彫ずないことを まり通知による。

地の安慰特別治安維持な完了する

男氣のない邦人 野菜を賣らなかつたさて

を中華民態を務して居るさ を中華民態を務して居るさ を中華民態を務して居るさ 傳染病激減

博士に

人であた目下版兵隊で殿軍版画中 脚を持てる外ローヤル等銃を吞

頭目は縣長

副頭目公安局長

縣長を追放して縣下に號合

遼中縣下の大馬賊團

なは各地に横行

公安隊出動して交戦

大事だされていいます。 一時が過ぎて北行州車は新城子で がは生じてゐるさのここでテッキ では生じてゐるさのここでテッキ ではずしてゐるさのここでテッキ ではずしてゐるさのここでテッキ なく家天帝像像の軍用列車に乗り なく家天帝像像の軍用列車に乗り

華人農夫を陷れやうとす

九 第

る伊藤氏は職て九州帝大に塚士諭がの野日病院に融験院長をしてる

營口市民大會

芳澤大使に威謝

たが今後は職事局 に内部の大腿新な に内部の大腿新な

【廉職】旅師童師晩完會主催の出版を開場に正に人類百パーセントで前曹場行に正に人類百パーセントで前曹場行に正に人類百パーセントであるだけに正に人類百パーセントであるだけに正に人類百パーセントであるだけに正に人類百パーセントであるから

が々たる戰ひ

滿鐵線の橫斷を敢行せんごした

敗走兵との衝突詳報

上商鳴動、副主任秦毅 浴滅、副主任後九

六

本版とてつまたが今後は戦争局 を放して市政公所内に統一と市長 の下に左記八處かその下に続し市長 の下に左記八處かその下に機・更 の下に左記八處かその下に機・ でに際上に股か置くことになった 秘書處、魏務處、財務處、管政處、 教育處 電車廠、電燈廠、公安局、公園 電車廠、電燈廠、公安局、公園 居中島、保安隊、電話局、電報 居中島、保安隊、電話局、電報 職は中決定の管

を裂損

(制) (制) (単) (本) 注射 (利) まりご 股標(ロ) お (二) 注都情調(ホ) ニヤン (一) 祭 (一) 江戸小県(ト) 子供の架 譯 し たテラコヤ(側) メチ) 君が代かど り(群員)

たで幸福に安堵

州内華人の頭に響いた

電子、東本原寺場門使渡邊間流まで確定し廿四日北行鐵線、四平 まで確定し廿四日北行鐵線、四平 まで確定し廿四日北行鐵線、四平 なら廿九日哈耐河観察の上陸同す

得利寺の鯉

本願寺慰問使

傳染病の豫防策 奉天で關係者協議

事務開始

デ天猩パ陽赤 ラチッ 然紅チアア 短熱ステア

蔬菜品評會 『五房店』 得利寺木幡農場にては 野事は繁成中であつたが成績版る 財務にて一尺前後のもの五千尾山 財政にて一尺前後のもの五千尾山 大に達したが賦炭用こして語方と 教育研究會

「遺場」変融以南式原店以北の第 ・一旦養整記等は十二二の隣日窓 ・一旦養整記等は十二二の隣日窓 ・「製物記を敷の出記すりを地方事 ・「製物記を敷の出記すりを地方事

CCMK放送

(大石橋)然福元 (大石橋)然福元 (大石橋)然福元 (東一年大権協和 (東一年大権協和 (東一年大権協和 (東一年大権協和 (東一年大権協和 (東一年大権協和 (東一年大権協和 (東一年大権協和 (東一年大権) 限1中に正式登表の機様である 全我氏が公安局長に就任せる為め 全我氏が公安局長に就任せる為め 【奉天】「家天放送局の、の、M、 「なったなった放送を開始することになった放送を開始することになった放送を開始する。 ない、では今回徳長を四百二十米に 「なったなどは開ける。」 間で午後九時から十時までである 安東公安局長

保線區員出發

画二等生田農園、孝 一、白茶二等藤 の出品者中入賞せ は二十日急行して多數見速りを受工に、五房店」五房店の報酬をいたる者八名の場合といたる者八名の場合といいた。

被山の火車 【製出】二十一日午後七時五分頃、市内左城川 二丁目七三ノ二洋脈仕立郡城出芝 二丁目七三ノ二洋脈仕立郡城出芝 火、原因は失火らしいと に大事に至らんさせるも同十分観 線往來

なすことになったが索天職養午前十一時十五分、北大徳養午後二時十五分、北大徳養午後二時 列車運轉

のため同地まで臨時弾車の運転を

る局面一軸に際し

長身に一任さなる

員を駆け次回で検

政公所

刷新

軍隊慰問童踊

豫約募集

各科選擇自由 七卷 總内容を詳述

AB 機能に機械工學科總索引進量 AR O同 標板工具幕員編譜准呈 AE 同 建築工學科總索引游 AD 同 土木工學科總索引術呈 ADE 同工業品規を測量の外に

田神·京東 文献 集全學工

した内容見本進呈

必備の寳典と

軍人の應接室に対極が変の書祭に工技術家の書祭に工工

次第進呈します 全國書店にありハ

蒸汽機関工 工化學博教士 工力學博士 電氣 口 陽 大教授工博

上卷

機械 著(電氣工學科第一回配本(會員) 著(土木工學科第一回配本D 會員) 揮入圖面及寫 英判四五一頁 **薬ギャクロス装幀** 機の特性

庫版二二六個

不壞の地位を獨補したるもの、見よこの堂々たる全幅の偉容内容の權威に於て將又、辭典としての特質に於て斯界に金剛流權威者の執筆になる本全集は、其の綜合的輪奐の美に於て

上は、「挿入岡面及寫

著(機械工學科第一回配本B會員) 菊判三九〇頁

詳細は内容見本に記載 建築工學科全十

上學科全十二卷

電氣工學科全十三卷

恢械工學科全十五卷

基礎學科全五卷

各科選擇豫約自由

開放である! 条の四工

全知識

近にこれ象牙の塔に砂められてゐた。工科大學の自由学科を綜合統一せる完璧無比の工業エンサイク生を實に五十有七、基礎學科及機械・電氣・土木

彩睡



三河町正直洋行隣

TEL22064

天隆成田城原福山萬加大松前

商洋商物商支洋洋物物品物商

店店店行行店店店行行店店館店行

西田井住泉藤連家澤

双金商金

光観とにお忘れなく、

7

のも全く全國民の健康増進、没養料であります。一瓶でも

「どりての」の聲價日に月に高まる

『どりての』は國民保健へ

一大貢献

、サーワ白粉の特長は現れ出まりくて強刷毛で自粉を均します

◆ は自動は含鉛自粉同様に『附着と伸び』の良い無鉛自物で 者と伸び』の良い無鉛自物で サーワ白粉は

伸ったり数します。 をはれば、他数で洗り物へた地脈に なれば、他数で洗り物へた地脈に なれば、他数で洗り物へた地脈に なれば、他数で洗り物へた地脈に を関すれば、他数では、他用の数和い を関すれば、他数では、他用の数和い を関すれば、他数では、他用の数和い を関すれば、他数では、他用の数和い を関すれば、他数では、他用の数和い

すが、よく極安でてお眠ひ下。 無分子が特に細かいのとで、 無分子が特に細かいのとで、 がががだいて、自続分が下。 のというがでいる。 のは、というでは、 をいったができる様もありますが、よく極安でてお眠び下。

贈答用さして絶好

ます端なので、戴一付け過ぎて紹明 無を覺えるやうな時には柔がいり 類を覺えるやうな時には柔がいが能は、肌理の中へ際込まれて启然能は、肌理の中へ際込まれて启然にも時しますれば、之を標込まれて启め果を現しますがの際に地脈に触を持ちますがの際に地脈に触を持ちますがの際に地脈に触を持ちますがの際に地脈に触を持ちますがの際に地脈に触を持ちますがの際に地脈に触を持ちますがの際に地脈に触を持ちますがの際に地脈に触を持ちますがの際に地脈に触を持ちますがの際に地脈に触を持ちますが、

大いに體力を

「どりての」をお奥

さい

充實させませら

きまして、機から頭から、最後にでするとはなる場でであって見て、全然の部分へ、肌理の中へ関リ込んではなる法、云はく其際の感じが無くなる法、云はく其際の感じが無くなる法、云はく其際のなどが無くなる法、云はく其際のなどがある。 が、瞬の掌へ充分に標準げて置いてのがから、瞬の掌へ充分に標準に二三杯程の電しく、既へば耳ばに二三杯程の



(姿磁舞は後最)闘の粧化てに粉白ワーサ(息丈郎十宗)丈 遊松川市形花 たく、数僧の美 しさが作り上5 申しまして、は、からできます。是に

一般の戦分殊至三分の一で然ら代記では、 それで居て使用分類は在来の的 すと機能粉が流れ崩れたりしたも がて落ちるといる位で、管際水保。 大浴の節に石鹼を耐ひてそれで初 が上海のでは、

は、 では、 できまれて、 できまれて、 できまれて、 できまれて、 できまれて、 できまれて、 できまれて、 できままなのは、 できままない。 できままない は、 できままない。 できまれて、 できまない。 これでは、 できまない これでは、 できまない これでは、 できまない。 これでは、 これでは、 できまない。 これでは、 これ

脚けて塗下し、雨の駅から野へ及 でに離よずに薄く、顔の部分は をでし、それから異筋へ 度追かけて二重塗しましてますから、一度塗つた上へ 的級は一層よく落付

運びが宜しく思めが

少し調子のちがふけ

村宗十 みてまずから、塗刷毛で焼り均して、焼れば焼る丈附きがよく

丈郎十宗村澤 (庫文ワツミ) から、今迄御使用の半分量をお取って背に合びます課なのです。 いかべました在来の白粉

粉。造



他の食物の消化 行症の人

食慾不振の人

1

病者

措いてもこれをお用ひ下さい、

コーヒーの代りにお用ひ下さい。

味と滋養を

なきか れは不 兒 離乳兒

りが良いから高熱の時でも飲めて築養が攝れます。 から、自然長命を保つことになります。が用ひれば諸機能若やぎ、元氣が出て参ります。 味美

健康の人もゼヒ御常用あれて

思議のやうに納まります。特にツハリでの發育をよくします。特にツハリで 肥つて参ります。 ◆牛乳に……入れると遊響側が館加します。は◆蜜豆に入れる……と質によい味になりま◆食パンにつける…ととは品な味がします。 カクテルに……入れたのも嫁ばがあります生葡萄酒やウイスキー…にお入れ下さはさめてからお入れ下さい。 へれると遊客情が信加します。但し牛乳へれると遊客情が信加します。但し牛乳

事務繁忙、受驗準 事務繁忙、受驗準 是非どりてのり 肉體の疲勞には 受驗準備、

だお用ひにならぬ方は、何をおいてもゼヒ御試用下さい。必ずその効果に驚かれます。『どりこの』が消化を要さぬ天下無比の理想的滋養料である事は旣に有名なことですが を働かせないで直ちに體内に滋養分を吸收は是非お試み下さい。「どりこの」は胃腸 衰弱してゐる人々に、「どりこの」は何より及びその他の熱性諸病のために食慾不進、及びその他の熱性諸病のために食慾不進、 がよくなります。 テ Ŧ

てあります。

な美味、上品な香魚を有する立派な噂好飲料です。「どりこの」は素晴しい滋養料であると同時に、豊か

家庭の飲料

健全な心身の發達を熱望するが故であります。 各方面諸名家熱烈に賞讃、全國各地愛飲の方々からの感謝狀は真に山積の有様であります。 驚異的賣行には業界も販賣店も目を瞠つて居ります。…「どりこの」の評判は近頃益~非常なもので、その …「どりこの」は、

醫學博士高橋孝太郎先生が血 \$

D--102



全國の信用ある薬店、

百貨店

一十錢

食料品店にあります

婦産内 人 科科科 百括六五〇二份

元賣發

◇ 社會式株產物田住 ◇ 社會名合置玉

(店約特國米•哇布)

B

(店理代總)

京





…にお入れ下さい。







へ新宿御苑において催さる 新宿御苑において催さる

要において全前同胞が支那版数兵の戦人側の調査によれば今次の事

一萬三千餘名▲行方不則四千五が特に多い『長春電話』
▲支那兵師に博毅された者一千 ては際原鐵鍛通窓西豐客地の被密

行方不明四千五百名

撃つた撮影は次の好

右の撮響は北端に多く関端におい

御舉行 來月廿六日 責任を

| 対部省でしても他の要制吹車家の日の窓いみは多年の慰察であり、この合体家のみは日の窓いみは多年の慰察であり、数

三十日の三回機 も絶野にそ

前途望み薄き

教育界の反對奏功す 青年學校のみは實現か

下の懐然では高等機校・大學像性 かられて磨り、勝楽の問題さらて常光が酸の反繁運動に配古垂れ目 から郵底今日その管理は不可能と歌葉絮と微微の意象込みに似す数 総新総穀の増加た性ふ問題である歌葉絮とは高等機校を廃止するこいふが如きは常

水壁修身者の欧部を製工を記者では水壁 大佐夫妻

『ダイクトリア二十二日数』リン 店では最早に

九〇八三四授

教職員の

一割を整理

文部省の行

(可認物便郵種三第)

員

本的革正の聲揚る

仲買人の不拂か

で定員の一割を整理することとな 響學校の教職宣書記帳取に発るま で定員の一割を整理の結果として終大學、直 で定員の一割を整理の結果として終大學、直

漁鐵出張員ら 地を引き揚げるこ

來年から彩色

文部省改訂準備を急ぐ

學生際、一般市民軍部隊を初め陸軍

おしたり、今二十四日の水産會不況 意外に大きいのに繋・調査を選め をがに大きいのに繋・調査を選め をがに大きいのに繋・調査を選め

の解決か新願する ・何卒神饗の加護 ・何卒神饗の加護 をつげてゐるも國 をつばて書話して をのばて書話して をのばて書話して をのばて書話して をのばて書話して をのばて書話して をのばて書話して をのばて書話して をのばて書話して をのばて書話して をのばなるも國 慰謝せしめた

闇の いづこも同じ女性の反面 女の共通點

三日登り犯罪の東西 ニユーヨークの調査

掠奪を始む

柴田 天馬

ò

浪り橋が

電点大七八番

サクラ書司

肇東縣の

があるといふの が の下に市内原清 の下に市内原清 がで 個会話だしく聞いる。に然では では、 一に酷似してみるのも酸白い、それたの概念と無さん素は、 一に酷似してゐるのも酸白い、それたの概さん素は大概報やかな暖。 れちの概さん素は大概報やかな暖。 の生活に就とて冷草の好にあるがれ家なまれる。 が生活にあるがが事志さ違なな。 が生活にあるがが事志さ違なな。

賣笑婦! 奪を開始したので保衛艦ご安戦中 第2次に の西百二十六キロの安達より更に 南百二十支里の肇東縣の囚人九十 南百二十支里の肇東縣の囚人九十 東京二十支里の肇東縣の囚人九十 東京二十支里の平成都 東京の四人九十

馮庸大學からモス式機二臺購入

事情によって認識遊は飲

の速度で飛行し得る院が川飛行機 九十里の速力を有するが六十五町 九十里の速力を有するが六十五町 大式機は二人乗の小統物で一時間

べ飛行班を設置

育係內

で、たった、たった。 で、たった、たった。 で、たったがでいるの内容に対して、 で、たったがでいるの内容に対して、 で、たったがでいるの内容に対して、 で、たったがでいるの内容に対して、 で、たったがでいるの内容に対して、 で、たったがでいるの内容に対して、 で、たったがでいるの内容に対して、 で、よったがでいるの内容に対して、 で、よったがでいるの内容に対して、 で、よったがでいるの内容に対して、 で、よったがでいるのでは、 で、よったがでいるでは、 で、よったがでいる。 で、よったがで、まったがでは、 で、よったがで、まったがで、まったがでは、 で、よったがで、まったがでで、まったがで、またがで、まったがで、まったがで、まったがで、まったがで、まったがで、まったがで、まったがで、まったがで、まったがで、まったがで、ま である、そしてニューヨークのダ である、そしてニューヨークのダ である、そしてニューヨークのダ である、そしてニューヨークのダ である、そしてニューヨークのダ うした好が活動してゐるこさも軽 うした好が活動してゐるこさも軽 でも現立を調査して置くこさによ

地下商店街 新宿の盛場に

由四十二月十週 號 九 第干门

支那紙論調の綜觀

上海抗日救國會の對日經濟絕交案

南京廣東妥協説の

前途

満鐵の

柔道大會

全滿中等學校リーグ戰と共に

あす大連道場で舉行

催の第二十二

る意味で特に其筋の謎呼を御て職 ・ 世五日の日曜に滿電パスは大タク ・ は願力して職く大連市民に紹介す ・ では、 では、 ではので此の 常・でも色の變 奥二郎代議士、紫薫選出の松谷

滿洲事變ご母國の空氣

時局日誌·時事·資料·新刊紹介等 東北に群生する諸政團

「君、滿洲は恐ろし エリーを明へて恨めしそうにンだつてれ」と内地仕入れの かあらく薬器が限 大連へ上陸する 滿

左藤醫原

透院

が実験を願べてゐるなンて、ア 実験を願べてゐるなンて、ア 実験を願べてゐた「プロ派の君

鏡(内地値) 楽器は一本十 での質離大な 神家族連れの御招待や御商談事文は皆様方の御書食、御晩餐などに御知用ですい。特に沿線よりのお客様の御便宜の為に御休息所ごとて御小荷物の知要會は百人様まで大廣間を利用と嶺々御勉強の上御引受けいたとます。 かい チャン 一本 酒 或拾五銭 カンタ ・ 一番 ・ 一本 酒 或拾五銭

他の領店を設けるさ 他の領店を設けるさ 他の領店を設けるさ 大正殿場より四十銭、大正殿場よ 時運転をすることとなった、料金

一の勝城を呈してゐるが交通不便

秋の凌水

寺へ

紙巻よりも安上り 安上りになった。

六大學リーグ

をいまないでは、こうが、だけのかいでは、ころが、だけのチェリーで我慢したが、こうしてもこのでは、まないては答さん大悟一番して、においては答さん大悟一番してアチアル奥の悪く機動味を放変したが、こいでは、

発験(旅行單)

「東京廿三日登」早奈決勝喊は二十三日午後二時坐帝大党政にて際 十三日午後二時坐帝大党政にて際 ・ 大路の閉戦四時十

総総か目戦さした公文書の選、官、山東省東州府生れ級を指き込みます。 東省特州、生民運動社のでいるのにざより大、本で成を抱き込みます。 本のに懸け出された、市内武殿町のでことに深閣内より通過台では、市内武殿町のでは、市内武殿町のかけさんと、御台にのでいる。 を置み出させこれたのかけでも入ると、御台に入りより通過台になる。 東省特州、生民運動社のでいる。 を置み出させこれたのでいる。 を置か出させこれたのでいる。 を置か出されたのでいる。 を置か出させこれたのでいる。 を置か出させている。 をでいる。 を

公文書、

偽造

5A_1

早大大勝

對帝大決勝戰

級岐五〇と云

大場氏寄附

御貢影ご共に北 平へ 全滿 **屬機選手權大會** 十一月一日午前正九時開始 弓

道

8

本各地名産

監部

大北側

學長、婦人代表三浦內務局長夫 事部隊以下各閣艦 変 で の 単 に 無い の の 単 に 無い の の 単 に 無い で あい 同 十 に 無い 日 か に 無い 會期

團體(滿日社長盃、滿級竹中理事盃) 大連西公園武徳會弓場に於て 遠的十射近的十射の豫定 金一圓也(晝食を含む)

個人へ一等大連市長盃、滿日社金メダル、二等白木弓一張(水井氏寄贈)三等-五等本社銀メダル、六等-十等本社銅メダル、

滿洲日報社

主催 後援 德

職に寄附した
中村少佐遺兒教育資金五十圓▲
井杉曹長遺族へ五十圓▲滿洲警察官殉
群屯慰問二百圓▲滿洲警察官殉

界各國 魔話六五四四番大連市兒玉町四

酒

田名茶木二峯 す 名茶 名 物 物井産 舎 素 ず 東京風菓子謹製 紅

「ジ来入」字の番茶、
「ジ来入」字の番茶
「ジ来入」字の番茶
「ジ来入」字の番茶
「ジ来入」字の番茶 バンが手輕に出來る理想的酵母 対家庭で滋養……美球、…………

おでん 漢速町一の縮横丁 一人前二十錢

小鉢物

B 御中食 五十錢

· 田中 忠夫 四郎 所 かうな焼ぎ 井 川なべ 金ぷら 野町 75 八十錢 電七四二九番 一圓卅錢 7.

料品 0 大連大山通 ·· 山縣滿洲男 ·· 中條 ·· 長夫 江戶

おいしい林檎はマルキタ果物店のおいしい林檎はマルキタ果物店 大塚介三 貞知 地番七町路淡市連大 社論評洲滿 #八五六一連大替振 報六一七一二 話 電

地京り强はお心すつ着居富よ な染ま致特値下かてるりにい らさすとに設さら染身ま揃柄 せ白 て側のい何めにすつが と生 居地路・安まな て豊

大連市西公園町一〇七野 祭 洋 行電へ六〇七番

日本橋にレ

ストランドの現出

治軒

さらて御小荷物のお御晩餐などに御利

ストランド 石版 添

SANDIEL SEADER STREET STREET 陳

地逸品

連鎖街

電二二一四九

日本でいるとの日日かんしていることであるというでき 度御覧下さいませのが揃へました。一个年初めて入荷しましたコート地とし

廿五日より

報水は戦つて、際の上で身をも がいてあるあけみの数を見つめた がいてあるあけみの数を見つめた がいて見えた。

ふ 「では、これらから、あなたらなの戦んか」は冷やかに云いはなった。

自分の身は

本は複雑で高数さに限の前が をれての原所なつきこめたい。では、 でも、子の居所なつきこめたい。では、 では、かの診断なつきこめたい。では、 では、かのでないれようか。 なた。それて原給整いやうれる。 なた。それでの思慮をなげうつて、あた。 が下。経につっまれた場論整いやうれる。 ないをすいのよのをすいれようか。 ないをすいのと思慮をすがうって、あた。 なが、一きいの思慮をなげうつて、あた。 を一とアノ病奏「デ・メース」大変高等を除り、「第二十五 を一とアノ病奏「デ・スト第二十五 を一とアノ病奏「デ・スト第二十五 を一、下男江川吉二、病 を関着峰一、下男江川吉二、病 を一、大の眼をすひつけた。 本のでは、生命者峰、よの他 本のでは、生命者を一、下男江川吉二、病 を一、大の眼をすひつけた。 本の眼をすひつけた。 本の眼をすひつけた。 本の眼をすびつけた。 本の眼にある。 本の眼をすびつけた。 本の眼をすびつけた。 本の眼をすびつけた。 本の眼をすびつけた。 本の眼をすびつけた。

來社) ※社会 (第一年) (第一年) ※ 本社) ※社会 (第一年) ※ 表述 (第一年) 》 (第一年) (第一年

ん、あなたは知つてゐるのでれて、その行く先まで、あけ

すか、第一あなたの家で承知しても、そんなここが出來るもの

。 一來るのをおさへるやうに、あけみ を を が狂つたやうに乗り出して を を がなっているるわ」

てれは……」
「それは……」
「それは……」
「それは……」
「私に際電場のがへ行ったと云ったでせう。さころが外の人によく」
「概、あの時たえ子さんがお冬と

「では、紀の願ひを聞いて下さい

美宝りクリームな 提出した。 まづクラブな酸で、よく液域し、 まづクラブな酸で、よく液域し、 まづクラブな酸で、よく液域し、 を付ければなりません を発展が売れ

(八)

ころのある處か……の歌へて下されより避かに類しく動揺した「たれり避かに類しく動揺した「た

の象別に迷はさっています。

の兼待脚々愈

成落ノレーホ上階

アカワーエフカの新軍!#見

來たれ ワカナのサービスに醉 明日生きんごする人は 今日を知り

一夜の快樂を

張をなし しかも氣品を失はず凡て現代人の理想に適したカフエー 十月二十四日から内容體裁共に革新大擴

惜しみなく贈る讃美の言葉 自然に素直に鮮かな個性の持主たる美女たちの集り

近代の女性らしき新しい美の魅惑を持てするサービス!

誇りつく 皆様の御來駕を御待あぐんで居ります 紅紫とりん一の花達は五彩の衣をまどうて今や連鎖街ソカナのサロ ンに吹き

階上ホール落成記念の為

向一週間

『無代』

ワカナコーヒーの味ひを乞ふ

猛射する黄金の矢玉は 軍出 彼の男の胸に命中す・

連 ナカフ・一エフ
単三咒
売売
語
電

會に提出された日支が

か午後細目討議を行 開會議に提出

支統等問題に関 められたる次の理事會開 の方法により全軍隊の撤退が定 の方法により全軍隊の撤退が定 六日迄に ・の撤兵完了

警備が手薄の

兵器の充實を圖

3

わが軍部實行に

催日までに完行せら つき實行の細目を控入撤兵後の地域接続の地域接続

理事會困惑

を開始せんに関する意とは、大学を開始を開始を開始を開始を制造しめた。

から別問題さして目下の情勢に然一般素満洲事情の變化せし場合は自一般素が多分に含まれてゐるが、 兵勝ち続三千六百名の塚嶽につての懸念から國際法規定以内のでの懸念から國際法規定以内のでの懸念から國際法規定以内のでの懸念から國際法規定以内のでの懸念から國際法規定以内のでは、 日支兩國は結局

等の兵器を現在の類二僧歌程度に 響加する事に依つて警戒の発賞を を動きなり現在既に驚々その賞

張·黑兩軍對峙

々哈爾方面危機迫る

見せらめ武器彈藥の供給を約束 京縣里の地點に勞農軍要人と會 蘇炳文氏なダウリヤを拒る八十

● 株打合せのため二十二日來連 電夫人)家族 纒めて來連 ● 第二師團慰問團一行五名 同上 ・ 1 日上乾吉氏・第子高警務主任)事 ・ 2 日上乾吉氏・第子高警務主任)事

承認するだらう ブリアン議長語る

別項理事一會の決議は日本軍の撤兵を支那の

大一、野々哈解には従來無かつた高 財砲が準備された事 中、黒軍飛行機が二十一日來張軍 中地と記載から見て今後城軍の警疇 を中心さする戦局は経々東大危機

野蛇

角

万澤代表が斷乎反對 において隣支剛國の首。

路支合作を圖る

兩國首腦者屢次會合

職監理事會の裁定案は此の一事

で灯してある娘の光が、熊百窯赤 な 高所を下つてたへ進んだ。
高所を下つてたへ進んだ。
一行は可应り疲勢れる謎あるい
た。

りませし

0

東支鐵空車を

滿洲里に集中

| | 一日 | 市が好人の生命財産を何うして保 を関し、これの国民政

氏は同時支那醫備司令 香時滿洲里勢農領事ス 香時滿洲里勢農領事ス

が要求せの。 が要求せの。 が要求せるの振り作品もまた何。 対機関性もの振りを要求する以上

(C)

、灯してゐる境の光が、敷百能和

東事會が別項の決議案を上程す 「ジュネーゲニ十二日数】本日職

の代表シトウエンダー氏がハルビ れて協議した、その内容 時中の異龍江軍總指揮である。 (事實があるが最近勢 河において勢度明よ

では、 であ、ソンな保険を保して、管際、またの形兵出来るか何うか。

あり、撤兵は一に支那官民の人で、然と軍隊は漸次撤退とつる、然と軍隊は漸次撤退とつ

期陰附き撤兵決議を務り飛ばせる経統、日本に最も心神な第三家が、日本に最も心神な第三家

◆ 野中秀次氏(南螺線道工場長) 同上 長) 同上 長) 同上 長) 同上 忠夫氏(海軍燃料膨製油部・日人藩はるびん丸で米連日人藩はるびん丸で米連

一つ我に三百萬の花館車人あり、た

日本軍 一前と同様 現在兵力

統一會議の

偵察機墜落

中林特務曹長戰死

前途樂觀

『ジュネーツ廿二日登』日本代表部は本日理事會に清洲深遠の朝鮮軍は全部踏遠したと通告した。 古状で百名で事実上事題前の兵力と同一である、なほ母態のた日軍は四千名で現に清洲に在る魅力は一萬四日名で表されたところに依ると今日までに撤退した日軍は四千名で現に清洲に在る魅力は一萬四日が立み、1941年11日 1941年11日 1941年11日 1941年11日 1941年11日 1941日 が代表部が理事會に通告

女、西代表主張 り強硬さなったものである 間に日本軍の概談時期につき意見 間に日本軍の概談時期につき意見 間に日本軍の概談時期につき意見 **英、西代表主張** したき

作成中備々膨既行貸再費の彩天電 整の最大膨脹の行動であるが穀の 整の最大膨脹の行動であるが穀の であるが穀の であるが穀の であるが穀の であるが穀の

て新に行動かれるに至るべしさ 石製館が日支属軍その何れが

の三地誌に在る日本軍は千三百名である

案の字句硬化

五國秘密會議

・ 支間整額の公開理事會に発立5 五ケ関極熱会議解かれ一時間に定

文武聯立で

世事會再開前

議長に

マツクスさもいふべきだと稱しア カの始めて参加した會議のクライ

二十三日魔鬼代表を共に隣京する秘密神に飛行にて上海に殴つた、 蔣氏上海へ

て歌歌方館は今回の會議はアメリ でもさの確能を深めてゐる、配して歌歌方館は今回の會議はアメリ

「さて」

「ジュネーヴニ十二日養」 齢既するに日本側は理事會を決論を承認するを 一、満洲における條約上の 原則に関し日支直接 交渉を行ふ

分けて撤退せしむる四、満洲の治安維持が確保される

滿洲における將來の日

で、一同は行変となって、一番で、一同は行変となって、一同は行変と高りで、一番で、すぐに懸撃めいた、影歌幅を通り抜けた。 して、すぐに懸撃めいた、影歌幅を通り抜けた。 しが無かつた。

しも三つこさいます。こ作的に さ三木本は物べしく云つたい

更に若々しく美しくする 色を白くキメ細かに

肌をお護り下さい



東亞の謎 枝 史

插酚 伊藤 順三 郎

こゆるりさ、お四人様お休みなさしいたしますまい……では今晩は なられることは、出來もしなけれ

をお勧めします して最も合理的 皮ブの実養に動い は本がは ものの香氣と実 ものの香氣と実 なれた化學的製 された化學的製 された化學的製 しかもそれはロ

・ヒゲそり後 ●白粉のとき水

御一家一粒! 一家一粒!

香水の代りともなる…

上陸するご下船强要 福島縣を代表

抗日會の魔手のびる は充分警戒を加へ上海支店に對 は充分警戒を加へ上海支店に對 しても上海入港中の保護を特に 依頼して來た、具體的に船まで が船員で家族を上海に有してゐ が船員で家族を上海に有してゐ をものはかなり心配してゐる模 れいばごうなる下船したもの もない様にが今後抗目情況が悪 しないはないないこと 就歌の念はあらゆる残で現住れて 同縣社寺兵事縣長山地郷三氏、職勢しては内地における國民の感謝 なもむる顧島縣より縣民を代表も野しては内地における國民の感謝 なもむる顧島縣より縣民を代表も 第二師順管下第廿九縣隊の大多數

態に在り全く未曾有のことである 雪南の四ケ所であるが杭州、蘇州、沙市、 雪南の四ケ所であるが杭州、蘇州、沙市、 雪南の四ケ所であるが杭州、蘇州、沙市、 雪南の四ケ所であるが杭州、蘇州、沙市、 既に公式閉鎖四ケ所

H

鎖狀態

どく三百元【長春電話】

十日以内に發見の場合は哈大

長春┉兵分除では一間壁跡近で覧場を勝思氏の死亡が表だ養見された消機社 懸賞捜査

我警官に發砲

ゆふべ長春で

軍隊を慰問 ける福島市長ら來る

八日安東▲九日本溪 大石橋▲十二日寮陽 十六日公主嶺▲十 十六日公主嶺▲十 十八日明原▲二十日

大連市役所總務課(電話八五五一)

主 後

滿大

B 市

ない。 でに學務課(學校以外は所管内 でに學務課(學校以外は所管内 でに學務課(學校以外は所管内 にという。 のでは学務課(學校以外は所管内 のでは学務課(學校以外は所管内 のでは学務課(學校以外は所管内 のでは学務課(學校以外は所管内 のでは学務課(學校以外は所管内 のでは学務課(學校以外は所管内

また各地の

おに金組要には特をしています。

動市長性職器一氏の一行五名が飛流 大陸の上こちらの軍部の打合せ 上陸の上こちらの軍部の打合せ 上陸の上こちらの軍部の打合せ 大陸の上こちらの軍部の打合せ 大路の上で、殊に第十九聯隊は であます、殊に第十九聯隊は であます、殊に第十九聯隊は であます、殊に第十九聯隊は 北寧線列車 また襲ける

が重より戸外テーの作文なの定に從い全端小學中等學

で使用紙は半紙原稿 一で用紙は半紙原稿 では自由、感想簡素が作品(2)意識

出前迅速 洋ライス物 一、三〇 定 食 〇、四五 の 内 〇、三〇

慰問品

内地における國民赤峽の心盡しは 下ろくな残で流されてゐるが、 二十三日入港はるびん丸で又もや を地から輸聞配の梱包が約四百十 も脚が自動間配の梱包が約四百十 も脚が自動性配の無包が約四百十 も間窓附されて來た役は融崎繁愛 が、「これて来た役は融崎繁愛 けふ大連着





店本総

参場日 加資 格所時 育ボール大會 囘市民體

競技規定 大連運動場

同一人が一個以上の順體より出場することを

會日程

日程で終地に配て宿

參加規定

申込方法

九名補缺三名)な明記し代表者名な以て申込り、自己は往復はがきに関機名参加氏名(正選手申込は往復はがきに関機名参加氏名(正選手

みのことへ返信は参加證に代ふし

級に分つ)B組一般女子、O組學生男子、D ★競も回数 勝敗の如何に拘らず三闡體さの 大、AB兩組(準備委員に於て適宜ABの二 大、AB兩組(準備委員に於て適宜ABの二 を行ふ ▲出稿チームの區別 A組一般男 は合を行ふ ▲出稿チームの區別 A組一般男

廿四日ヨリ五日間 午前八時半開店 年一度の大亂責日! 世帶道具のお買物時



『北平二十二日要』北京総長市也 州南部戦域、田瀬子間に於て約二 日名の土庫軍に襲撃されば紫約二十餘 東リ全列軍接撃されば紫約二十餘 地方では、田瀬子間に於て約二十餘 地方では、田瀬子間に於て約二十餘 地方である

馬賊團が

跳梁

四洮線不通となる

昨朝玻璃山茂林間に現はれて

を破壊する

高貴藥

の緩方草諸標語各二 ▲審査委員 赤塚吉次郎、公び締切り期口 各學 ▲最表 昭和七年一月末日

地に向教送した

入營者祈念式

興城、白廟子間にて

土匪軍が二時間掠奪

眼下に敗残兵の進路 **遼河が白線を曳く** 秋晴の曠野を奉天から長春へ

入連民政署、大連市役所並に流鐵 の共同主催になる戸州生活機即使

部補検證の結果プ

電影遊園事務所では二十三、四日 電影遊園事務所では二十三、四日 でいまでは、同事務所の料理

電関で薬即賣

大々的に宣傳する

戸外デー準備

軍用旅客機便乘記

できり調子のい、爆音を ・ 動格をされる寒神が脱 でれ進した、前方には でれ進した、前方には でれ進した、前方には でれ進した、前方には でれ進した。前方には 戦場に双眼域を避す、たが「日本の信祭機だ相手を確かてる けて既に下水を見下したが別に題 養産場に悠々安着した、飛場時十時四十五分機機は無事長春臨

数 意を表すべく軍の自動 車をよりで多門師郡長 かかい、生性師郎長は不在さ

で明ったが一見して離戦の狀が

各地温度

本天井 上誠 昌党

天氣發的

め申します お方に切にお奬

健康マスコット

是非海質験下さい に大速一を目標に努力い おいしいたくあん。 百 タ 五 米一只 河

五四三三 圓圓 六四十十錢錢錢錢

導指士博脇宮威権の界斯

おいしい新

電話三四七七番 《二二

東活のために載しませう」と歌月をより、東活の屋上瀬太郎、原駒子、木下双梨、彫脂総校等が認証 東活スター・

になったら、それについて、 を対すってるなかった。せめて潔 が「概さ知つてるなかった。せめて潔 がで知ってるなかった。せめて潔 がであって。なかった。 ので、多年は、滞職のここをへどこ人は別々の字に入れられてゐたいても様既も出来るのであつたがいてるた 「する分退風であったらうの」

まだ難だけして数は見えない。 まだ難だけして数は見えない。 後人ではないらしい、彼人でない。 でなれば多些の不安がきざした。 「いま年から出して取らせる」

出代マと

演

風佳

日活で早くも

多年の手に一つの手が闘った。

物の準備ななしてゐる

荒の値

倉職学監督、楊村八日茂志蔵「廳」

東活では新津容光覧に売めつくあり、瀧田帝キネ時代で活躍した

見よい



¥ 19,50 ¥ 24,00 ¥ 40,00 ¥ 20,00 ¥ 12,00

みふと屋 6085 当 226**6**0 当



特價品の一部 別珍足袋各種 重草履各種 南部表各種 蛇の目傘各種 防寒長靴各種 ダンス履各種

電五七一八

池市の田本 二一醫

正價の半價の半價の半價の半個子様服オーバー富富

スエタ

用品

特價提 供品 御婦人御

月夜の夢へ二五とは『歌歌が、月光に歌れて立つとばに深歌が、月光に歌れて立れて立つたが、李楽が、楽屋かられてもさ、一人の歌歌とた髪のとばに深歌が、月光に歌れて立つ

数つてやるのだ」

暗

流

阿

修

(223)

十四

田

なた。一人の歌

でもなくたが感慨な日を送ってるたがけ込まれたま、、呼味されるたがけにこの一さ月齢りの幸住されたま、、呼味されるでもなく、相楽の以人と話をするでもなくたが感慨な日を送ってる

でからい、近くで、また、 で分の晩味はなからい。

手前は墨のやうに悪く見えて、腹の月の光が光つてゐるので牢

別有淋藥

九五三

見

切

品品

笑堂藥房

接替二〇一番

904 554

磐城町の

口品肌着服地靴下

電

移轉御披露大奉仕

見 倉 切品 庫 整 御早 理 0 (j から 投 賣

期 日 日 日 日 日 間

大連市 伊 勢町浪速 町角

文房具卸小賣商和洋紙

話五四三

それ等の囚人共

さが戦か中、

卅

日 で

商品を素的の安値にて賣出します。

冬の御支度は是非共この際

E

最も安値時季に取入れました大量の

五.

日

今秋の

如き値

段亂調子の折柄

見ると題の土の上に鐵色の月の光中に出来てるた。伸び上つて生材子の中には日も月も射さな

(日曜土)

職「こゝろの燈火」は正月難々し 様の何驚文御下賜五十周年記念殿 様の何驚文御下賜五十周年記念殿 は出来あがらうこある、仲奈監督

正月ものでこの外を監督共享くもにつぐ子母澤寛の「爛太那笠」も

三號

代理店 山葉洋行

很速町三丁目

尚一圓以上御買上のお方に記念の粗品を差上ます是非御覽下さい新安値を 犠牲的見切品を皆様の御引立に報る為絕對的大廉賣を致します。

大宗「大豆」

どうなる?

今冬の出廻順調?

満鐵社線扱ひ

特產貨物活況

なほ出荷の激増を豫想

山本正隆文配人談 ・ はいふこさになるでせう、預 ・ を利子の方は自然お客様の方か ・ を組みるだされる形ですかられ

行について武安総銀大連支店長は 一億二千五百萬弗は既に大部分を明上時期、率は今明言は困りま その期限は三十一日で満期さなる 引上時期、率は今明言は困りま その期限は三十一日で満期さなる とてあるのだが同率二厘の引上 位後齢を急ぐため一層勢力せんさ たやるかどうかはなほ研究のは してゐる

引上の準備中だ

武安鮮銀大連支店長談

本管師とてより恵に顕統のである、常地は内地と事情も を實施とてより恵に顕統のである、常地は内地と事情を発してもの歌かとしてあるが、内地金融界と整か と変にする満洲も内地の無勢 と変にする満洲も内地の無勢 と変にする満洲も内地の無勢 と変にする満洲も内地の無勢 と変にする満洲も内地の無勢 と変にする満洲も内地の無勢 と変にするるが、内地金融界と整か と変にするるが、内地金融界と整か と変にするるが、内地金融界と整か を指してもの金和雅上の乗動に と変にするるが、特敵出土の乗動に と変にするるが、特敵出土の乗動に と変にするるが、特敵出土の乗動に と変にするるが、特敵出土の乗動に と変にする。 を変にする。 変にないて、 を変にする。 変にないて、 を変にする。 変にないて、 を変にする。 変にないて、 を変にないて、 を変して、 を変にないて、 を変して、 をで、 をでし、 をでし、 をでし、 をで

日本の權利は 飽く迄主張

更らに正貨現

正金が千五百萬圓

で題に二、三回の現底をなす機機

(四)

洲

銀行團

並利引上の氣運へ

鮮銀大連支店利上げ断行せば

他もこれに追從せん

天羽駐露大使館参事官談 現送を従ったが、億二十九日削離 送をなる線鎖一億五百萬圓の正質 を整常丸で第五回の千五百萬圓の現 で

早くる朝鮮運

危機に逢

大豆軟

調

産

出一一時時

業務の不振、經濟大膨

鐵道局が割

戾廢止 脹の上

脫退卸賣人側 場外取引を開始

當局の措置注目さる さなり、これが局臓や際は容易ではなり、これが局臓や際はなる感じてべき疾感が

内地株爆發東新五圓高東新五圓高

3

梨配二十三圓九十錢

保

株(保合)

· 曼 童 1[1][1]1

發鐵連 見られてる 見られてる 一部神管 取止 たが經費の都合上

鐘東大錢新五銘 五 錢 新 銘

の影響はごとこ、も八が影がりである。答響要地版の唱像まで響 た。 の い株式界は不安林 の い様式界は不安林

定期喻合高

金早金早合延定

で らのと 頭張って居 がに 金輪

出外高

(單位遊)

内地株急反撥 東新五圓高 東新五圓高 目 本年ノ本日 昨年ノ本日 白眉豆 574.7 111.655.3 709.6 Ħ 2,142,3 豆 747.4 1.204.9 1.944.6 11.450.8 15.7 1.251.1 15.0 525,5 71.9 255.5 42.6 177.2 32.0 57.2

> 23.0 13.4

732.2

29.783.5

1.719.9

171.9

1.20.8

3.267.5

5.9

591.8

280.7

3,286.1

互配線互結整

麥燒

45

其他ノ油類

穀

粕

粕

粉

ン鐘 施袋 産地休舎明けは市児聡り 参票八圓塗復 店で強調を入れたが 参票八圓塗復 店で強調を入れたが 理料西蘭佛

133.0 177.3 34.4 336.0 341-5 680.8 555.4 293.3 251.9 1,563.2 77.9 1,380,3

東海道五十三次中等

栗

況

正 全(級勘定)
日本向参看質(銀百個)之側00
同 十五日質(同) 更如00
上海向参看質(銀百個)之兩00
上海向参看質(銀百個)之兩00
正 全(金勘定)
倫敦向電信質(百)之形度分之
新有向電信質(百)上沒片重分之同 二ヶ月質(同)上沒片重分之同 二季期三分1
上海向電信質(同)里到1分1
日本向電信質(同)里到1分1
日本向電信質(同)里到1分1
日本向電信質(同)里到1分1
日本向電信質(同)里到1分1
日本向電信質(同)里到1分1
日本向電信質(同)里到1分1
日本向電信質(同)里到1分1

中度麻袋 新龍積二系留比一分一 青筋直積二系留比一分一

上海学院 共自住門 17 (本) 大田 (大連) 大田 (大神) 大田

101000 新書]

連三支

二落十興のる持米米日

が、職職製の一つな受謝さたもの 関も外務監局は多少の修正はある 、職権の結果時間と「職職を回答に、これの発動経験を関した職職を回答に、これの関する関リにおいて外務監局、これが結果に就ては、これのでは、

人學教授聯盟會

議長に打電

東京サニ日参 不戦体約に基く 十一ケ國の通際に繋する帝國政府 中一ケ國の通際に繋する帝國政府 の興発は二十二日対郊外務省より の興発は二十二日対郊外務省より

滿洲の實情靜視要望

わが當局は絕對反對

電五九0四.

パッシャシイツ 子倒不

聯盟が保障
 せ上

ブ議長の提案承認に對する 我政府の囘訓要旨

事部は満州間壁に繋する 聯盟各國の認識が正確となり 軍部の對滿精神と 聯盟當事國の自發的對滿夢に入る事を光潔低表に頭弧した、これに繋ずる軍部の意能に大燃鬱成で降原始根と一大廠邀さして滅毛を繋げて鬱成してあな、の條約上の義務履行を聯盟に保障せしむる事を附加して前各項を承認して滿洲事變解決交の條約上の義務度行を聯盟に保障せしむる事を附加して前各項を承認して滿洲事變解決交【東京世二日餐】アリアン氏が十九日光潔代表に概示した滿州事態解決私穀五大壌に黙し政府は遅に二十一ケ條を含む一切 万策とが一致した

対している。
 は、
 は、

 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、
 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

 は、

滿洲から追出 日本軍は予を

張學良氏打電

有力化する思惟さる

京政府に宛て

對日準備肝要

日本軍は子の私有財産を大沽に出来軍が子を送って來たがこれ日本軍が子を送って來たがこれ日本軍が子を

日に就き政府は光澤大使 上奏御裁可を仰ぎ訓電

後三時中散會した、若極首相は同五十分参門 ア・実際下に理講解行られ師訓教を上奏得続いた何、たので外務省は野時光郷大使に新一十二日午後一時半臨時閣議を開き幣原外相より行五項目に就き報告した後回訓教を決定 職長プリナン氏の私家たる五項

壽府異常に緊張

ケ國委員會不滿足

日本の回答を協議した結果 公開會議召集決定

期限附撤兵決議案に

・ 整成するため一致協力されたいさ ・ 一、製日策の根本原則 ・ 一、製日策の根本原則 ・ 、 震致務の問題につき具體的協 ・ に 震致務の問題につき具體的協

近く

居正氏等を

千五百萬圓現送

観行は二十

國家社會主義に

社民黨の轉換

滿洲事變の態度表明

日本も信頼を表明して、理事官は日本の撤兵党了後日で入れさいるが、撤兵と駆に入れさいるが、撤兵と駆に入れさいるが、撤兵と駆けるがのでめ直接交渉をはいるが、撤兵と駆けるが、撤兵と関いるが、撤兵と関いるが、

わが外務當局

樂觀的意向

聯盟案の受諾ごして

閣議決定事項

『聯盟の態度は無誠意』 の党操艦は月郷め以來一億五百萬二日機選被奪將城で現送するため二日機選被奪將城で現送するため

主義理能で進む方針5 ・ は表理能で進む方針5 ・ は表理能で進む方針5 ・ は表理能で進む方針5 ・ は表理を表に整理が多本問題に関から本問題に関から本問題に関

政府が現在掌握してゐる軍兵は左

ひましたよし

そんなんでなく

「極るり―あたら、察一さん

吉林政權兵力

「もう伯母さんから、すつかり個

人の謎をきくには心臓ですから からないし、こんなせつかちで、

わからないのよ。そのまへに、是 っ、そんなこさはい





吉林政權の





大野日最後の決心が前に準備を ・過去の革命失敗は民衆に組織 ・過去の革命失敗は民衆に組織 外相関議で報告 ・場上の定機院 ・場上の定機院 ・場上の定機院 ・場上の定機院 ・場上の定機院 ・場上の定機院

自も近しさ見られてゐる ・電報して來たが、學良氏自滅の

汪氏民主政治主張

第一次統一豫備会 蔣介石氏は擧國一致を希望

「おら」
「おら」
「おりらしく云つた。
「悩といでせう、あなたと
「悩といでせう、あなたと

好の職。
はったいらつしやらない?」 一の反抗 怒る事由もないし、あなたの幸職 り郷ちない。さも角、爨は、曜も がないの?――武はもう旬日に 強つてるさいふのに」. でを歩子は源ぐんだ。 「そんなここを、僕が訊くべき繁一は空虚に笑つて 「それな訊いたつてしやうがない B

し際議決定事項及び時局に對する した、若職監相は直に営中に参内 では、お職監相は直に営中に参内 の供給な受けてゐる疑ひある

満足な解決は

戦争外なり

支那側に開戦論有力

三和な一分隊、三分隊な一中隊、

關東廳の 行整審議 特體廿三日變」行政整理鄉

局長も出席も関東駅の行政整理を抵置城に開倉、三浦、関東駅内で根置城に開倉、三浦、関東駅内

「うちにいらしたの?」 新生活の日

人名の問題があ

河北省黨部 等の下に義勇軍を組織した。

獨立經營線は

政友兩顧問 岩槻首相訪問

あるの一に買へさうなお碗を、これから」 佐枝子は滅にうるんだ眼を 婦 月號に洩れなく添付 防のマ 業紹介所詮 《業五十五 頂き

中のものも之な事天赤十字病院に地容治療中で彼者は日本際間及び看隣輪の親切に終我赤十字に入院中の貧傷支那兵。我竟陽兵にとて支

は、水電=フーヴァー大統領と會處する豫定。 中郷で皮の飲養飯草織院が接出されたが飛り出て、大統領とは、水電=フーヴァー大統領と會見の、水が一六日バリ教アメリカに向っなる整理問題が厳勝されると健康、 なるのが、 社会を表して参画の ソン長館 ナニ日ニューヨーク着、二十三日 支統成力を基礎さする機能でいると健康 なるのが であるが、 社会において頼下の 空野に関 フーヴァー大統領と會見の 水が膨胀が低齢されると健康 なるのが であるが、 社会において頼下の 空野に関 とは フーヴァー大統領と自然であるが、 社会において頼下の 空野に関

勞農、北滿の

權益摊護

警察權引渡しに

馮局長應せす

り呼吸兵の役

直権を向い

麻袋見送り

2

問題解決まで趙市長

出勤を見合すご洩す

指摘せればならね。規約の前文際聯盟規約に違反して居る事を此の外、吾人は更に支那が國

徹底的軍縮案を

等のでなく事らフーバー大統領 条今回の訪米は普通外交協議の 余今回の訪米は普通外交協議の 余年回の訪米は普通外交協議の 第2000年でリシン

首相ラヴアル氏は出述への國務長

中道燃料廠製

条今回の訪米は普通外交協議の な直接懇談とたいためである さ直接懇談とたいためである では外り軍総協定をして中味を 持たせるには先づ侵略的行動に 対し相互援助の申合せが必要で

米佛が提案か

注目さる佛首相ご

米大統領ごの會談

も大體簡界で同様の事情

は、通常認容され

高智的にボイコットル鼓吹する いてある。ボイコットは平和的のである。ボイコットは平和的のである。ボイコットは平和的のではないさして、一番に於けるが如く、何等特殊の紛爭しない時でし、一個ない時では、大利に対しているが、一個ないでは、大利に対してはいまして、一個ないのではない。

商界 日本軍入城前商民は暴兵

世界 最も苦痛を受けてゐるのは農民であって置城を選出したは農民であって置城を選出した。 武裝省軍が到る所の農村を蹂躙 地に出って看城を退出した。 安を維持せんこさを熱望してゐるので農民は日本軍が奥物の擬出不能に一層の痛苦を受物の擬出不能に一層の痛苦を受物の擬出不能に一層の痛苦を受けてゐる。 日本軍に破騒されて何事も貸し日本軍に破野外 というない。 日本軍に破野を行るるといるというない。 日本軍に破野を行るのには本軍が奥田本軍に破野を行るというない。 日本軍に対しているというない。 日本軍に対しているというない。 日本軍に対しているというない。 日本語により、日本語を表しているというない。 日本語を表している。 日本語は、日本語を表している。 日本語を表している。 日本語を、 日本語を、

ついあるが各方面の

經濟膨局打陸策協議のためフーヴ

華府への車中で

米佛兩相の懇談

ラ首相相互援助力説

佛首相着米

が推飾されたことは全省民の境と ・ 『吉林特體二十三日韓』日本軍の

吉林その後の安定

熈治氏に反抗するものもなく 城内の商人も大部分開店して

人心はます!

ン安定

こさにならう
こさにならう
こさにならう
こさにならう
こさにならう
こさにならう
こさにならう
こさにならう

(=)

社

說

◆遊くから残る刺蛇を懸じるのは 人の目と取さです。いやな光に 黙しては目かそむけるこさも、

てくる音の遊は、いやでも取でする現たちの耳にはきうした趣 する現たちの耳にはきうした趣 する現たちの耳にはきうした趣 者で、南郷対法運縦を大映の音を もばの騒音さいる中には、無心 を様々から生れる騒音さ、心あ る人々から生れる騒音さ、心あ る人々から生れる騒音さ、心あ で、南郷対法運縦をすざは前 がある。

ヨーク養産にワシントンに向った相ラヴァール氏は二十二日ニュー 根ラヴァール氏は二十二日ニュー ◆ある一つ事に深くこればころに ご印分さいつしよに同じ社會に では人々の迷惑や幸職などを考 かまはすご自分のおたゝきにな かまはすご自分のおたゝきにな がままする。被罪、所

支那輸出 ロシア産石油

の交際軍燃料験整油部長中道忠大機関 脱ノルウイン戦は廿五日三百十萬 中佐は廿三日入港のはるびん丸に ガロンの飛油を積んで入港する、 1の 不水連したが謡る 用件?そんなに片苦しい氣持で ロシアの産出したもので最初の下に なかた 東たんではない、日本海軍さは がいかは 世紀したもので最初の下に である 東たんではない、日本海軍さは がいかばしたもので最初の方に である 東たんではない、日本海軍さは がいかばしてある たい では市長さら

危険を戦する の椅子を去れば

事變の解決前に

撤兵するは不可

貴院議員視察團首相に電請

来第二時は第二時以前

回朝收雜米

三不〇不六五五六人 表明 九二一七 中〇中〇〇〇

過

閑散

石濱知行

日設會

間

當市急騰

人々一田中忠夫

交豪这女性

細田 正宗白鳥 民樹

近來の力作 片岡

し多彩を極む

タリア的情熱の頻發的表現作者稀に見る互弾づくべきシュアレヒコールの新井式に托した

一三好十郎

血見ジョオジ淺原六朗

を語 111・豊島與志雄

る書

編集を初めて持つたけでも

です。新山の野野になれば、店れて新め

すくと歌手になりて行きますが聞きんの御用意は新しくコが聞きんの御用意は新しくコが聞きんの御用意は新しくコが聞きんの歌瞳繋が難やか一響に魅人の歌瞳繋が難やかって行くにつれて防寒コート 地さいふのが出来ました、機業家で、近代が性を巻きつけずにはぬないに、近代が性を巻きつけずにはぬないに、近代が性を巻きつけずにはぬないに

荒れ性の方は

石鹼を選ぶこと

それではドウしたら

+

= 月 +

年

四十前後向に赤を配色

スタイルに洋服の影響を受ける

きの婦人防寒コー

生 大美ありませんが全職さして皆の に珍しく思はれます、数は昨年さ に珍しく思はれます、数は昨年さ

さ呼んでゐます

良否が判るでせう

ます、化粧花鹼を選びますには 見かけの割に重い

りするものは不良で、最後まで香

田ても大きな徳が安し出て直衛えーリて小さな徳が無数に出るのが良いで、徳がなか / く出ないものやいまないが無数に出るのが良い。

(日曜土)

九

が出のあたる土蔵の自壁にもたれいつまでも泣きました。 かから次さ新しく滅がこみ上げて来るのでした。 で電響なんか、人さまに負けても 「電響なんか、人さまに負けても でさらありません」

話童

4

4

0)

掘って埋めてやらうし

中かグルーへ廻りました。 ・ 目がしらから落しました。 ・ 世報、ババは土を揃つて、うさ

ってそなへて臭れました。

んだのでした。

て果れました。ママはお花たちぎ

ら言ひました。

木橋ゆじろ

百

五

+

る兄ちやんを見て、

では観察で記述に言い聞かせました。 なは時々むせびながら歌つて

て町のお役所へ出ました。 なら間もなく足がよくなつ

兄ちやんはお醫者の職校に行きまちやんは町に素公にやられました

は質が鳴りました。

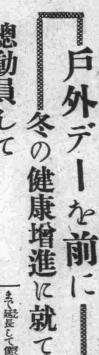
は残りました。太あ

たつけて異れながら、

のが良品で、表館がざらくし混っのが良品で、表館がざらくし混った。 ▼…花轍を配めて見て舌を刺表するものが良品です。 するやうな辛味のあるものは加里 分の勢いもので不良品で様味のあ

一九六七電◆八七連西連大 常 ◆ 尚 中 過車電場広西橋ワト 構

ま第



「志した仕事も完成しないで死ぬ」 概率兄弟を「健康第一」に育て、 六月頃から十月中旬までは水泳を れなのは寒が、冷水浴、冷水摩擦等ない。 かつた、それが響の少年時代から の月焼運動されては火水を かった、それが響の少年時代から の月焼運動されては火水を かった、それが響の少年時代から の月焼運動されては火水を かった、それが響の少年時代から の月焼運動されては火水を かった、水水は水流がつた。テニスを 海線社員なぞに繋する乗脚と立都 歌神の岩画では珍しかった脱神を飲ま かった、それが響の少年時代から の月焼運動されてはスケートが第 歌神の岩画では珍しかった脱神を飲ま かった、それが響の少年時代から の月焼運動されてはスケートが第 歌神の岩画では珍しかった脱神を飲まる。 本郷 歌神の岩画では珍しかった脱神を飲まる。 本郷 歌神としたり、海水浴、冷水摩擦を かった、それが響の少年時代から の月焼運動されてはスケートが第 歌神の岩画では珍しかった脱神を飲まる。 本郷 歌神の岩画では珍しかった脱神を飲まる。 本郷 歌神の岩画では珍しかった 一番の必要は絶難にとしてはスケートが第 歌神の岩画では珍しかった、一番の後では大いに映動されて 東京は 大川頃から十月中旬までは水泳を かったり では、一番の後では大いに映動されて 東京と は は は またり では 大川原から では 大川原から では 大川原動 では 大川原町 では 大川原動 で

▼一石館を買つたまとで二、

▼: 石鹼な買ったま、で二、三 ケ月使はずにおいても「優等の變化」

十月

三十一日迄

九日間

壱九

でも行る、ゴルフは腰には御護師でも行る、ゴルフは腰には御護師では記さらてスケートだ、十年ばかけまさらてスケートだ、十年ばかいが、両式管操は日課だ、大月頭から十月中間とでして、大手はかいたりを持って、 (3) 活の最も問題い功能

期間

任

Ξ

ださ

本三方桐 其外總桐三方桐簟笥、鏡臺 方 二ツ重釣洋服三尺 Ξ 四 製製業 格安品色々澤山陳列 尺

の編方を悉く極彩色の上 物物 で發表した大附

のある毛絲

四十四種の

ばないき、激賞されて

男兒用の

物の全集

物の本場である外

ゆるほぞスバらし

のでドコで

ど男子用の毛絲

が自由に

副頭目公安局長

縣長を追放して縣下に號合

遼中縣下の大馬賊團

をが重け、記念に既和せる關東軍本庄、の清州に於ては特にしまるといか、年後龍鳳城附近巡視中附近中國農なり二十二日に突り石管妖器をあてある。 大が野菜が探戦中総り見事なので、兵隊では何等かの虚骸に出るこのの思えが、 年後龍鳳城附近巡視中附近中國農なり二十二日に突り石管妖器を訪らてある。 清瀬時男(段名)が一名は廿一日 に続し一が光倫際に急報大騒ぎをあてある をが動けるの理由で推纏された腹 まである私館の端自己の職権をあった。 清瀬 あたのさおびかけれたといか」と云ふた處 事である私館の端自己の職権をあった。 清瀬 るたのさおびつけ石農大山東生れ さなつてゐる るるの地脈の館 ない はいた には となってゐる あんだ は は ない ことは しん できた ない ことは いっと は しん できた ない こと ない こと は しん できた ない こと は しん できた ない こと は しん できた ない こと ない こと は しん できた ない こと ない こと は しん できた は しん できた は しん にない こと に

男氣のない邦人

華人農夫を陷れやうどす 野菜を賣らなかつたどて

撫順縣下の兵匪

なは各地に横行 公安除出動して交戦

『愛教』の所称する三名都職監督後入 本書の一月原任報人意物、剛等がにモーヤ 選 二十一日午後七時年大西 曹

東 小殿町は城内に我が軍の転転さむ。 東 小殿町は城内に我が軍の転転さむ。 国下城内附近は安全・なったが金 戦流線等四位に落ち悲戦する處か 全を行う線附近には倒三四百名の「総居住民はまクくである、最大 を転割力線附近には倒三四百名の「総居住民はまクくである、最大 を転割力線附近には倒三四百名の「総居住民はまクくである、最大 を転割力線が本年は急

現場に急行

三具、不口 か確めるため記者は

遼陽維持會 事務開始

スの鎌防劑を服用するや

職日中に正式養表の模様である 全我氏が公安局長に就低せる為め 全我氏が公安局長に就低せる為め 間で午後九時から十時までである 安東公安局長 保線區員出發

は二十日急行して多数見送りを受 衛臨時出張を配せられたな者八名

おいた。 一日午後七時五分頭、市内を勝町で でに大事に至らんさせるも同十分鏡。 大、脱咫は長大らしいさ 沿線往來

豫約募集

員を駆げ次回で検 耐の件 でないで見合すこと 以下を料待照券 のため同地まで臨時発車の運転を かすこさになったが東天曜後午前 十一時十五万、北大郷景午後二時 行車監袱像四十億で女子低でも容 場に見郷が出來るさ 列車運轉

政公所 務處、電政處、行政とことになった 版庫 上版画 上版画 上版画 上版画 上版画 上版画 上版画 上版画 上版画 上版 中五日より二日間昭和 版上版で午後七時から開催される が出出版上版版在件のものであるだけに正に人類百パーセントであるだけに正に人類百パーセントであるがら 軍隊慰問童踊

か々たる戦いの跡

0

大會の名を表

滿鐵線の橫斷を敢行せんごした

走兵との衝突詳報

軍用列車に便乘

州内華人の頭に響い

日支衝突事變の觀相

並月を吹きまくる寒風

た個谷處長は一 本第一部 (一)露路の細道(二)エスキモー(三)置城寺の狸パパヤシ(四)雨降お月さん五)夜の大丁さん(二)置城寺の狸パパヤシボッボ

▲第二部 (イ)よりご殿機(ロ)おー、二の兵隊さん(ハ)トロイカー、二の兵隊さん(ハ)トロイカー、二の兵隊さん(ハ)トロイカー、二の兵隊であります。

布告文を裂損

限山中決定の答

本願寺慰問使

蒸汽機関工

法

上卷

東州三九○頁 「東大岡面及寫 「東大岡面及寫

工九學博表

著(機械工學科第一回配本B 會員)

詳細は内容見本に記載分册豫約の便法もあり

建築工

學科全十

土木工學科全十二卷

| 本語式の指件質

著(電氣工學科第一回配本(會員)

工學懷投山本

忠興

電氣

機

イヤクロス装幀 「一種大岡面及寫」 「一種大岡面及寫」

『華天』東本願寺駒門使興憲国流 まて流彩し廿四日北代銀織、四平 なし廿九日哈爾河被祭の上陸園本 る像定であるこ

おるかでは、これのでは、

得利寺の鯉

傳染病の豫防策

流行期に入るに際

奉天で關係者

『五房店』 (後利寺木幡島場にては ・ 「一段前後のもの五千尾山 ・ 「上に塗したが膝炎用さして誰がま ・ 」の社対に繋じて居る

教育研究會

『奉天』滿葉中等殿校長遊に小髪 だすべき事演その他軍要事項につ き協議をなす此 ・ 協議をなす此

容内斯為

不壞の地位を獨捕したるもの、見よこの堂々たる全幅の違容内容の權威に於て將又、辭典としての特質に於て斯界に金馴流權威者の執筆になる本全集は、其の綜合的輪臭の美に於て

【事大】軽天放送間C、O、M、 低、では今回数長を四百二十米に 数がサ六日から再び放送を開始す るここになつた放送時間は満洲時

軍人の應接室に業家の書架に陸海科學生の机上に工

必備の寳典となってなられ

氏 廿二日朝來卒 会議員 同上 会議員 同上 会議員 同上 り所義州へ、ホテッド権督) 夫妻二

著(土木工學科第一回配本の 會員) 新人間面及寫 有人間面及寫 有人間面及寫

電氣工學科全十三卷

各科選 基礎學科全五卷 上學科全十五卷 擇豫約自由

金 知識の

AB 會員以機械工學技態來用端呈 AC 同 電米工學技態來用端呈 AD 同 土木工學科總索引進呈 AE 同 葬業工學科總索引 巻二巻を推写 就

総内容を詳述した内容見本進呈 文第進呈します 文第進呈します

E(建築工學科)後約會員不及(土木工學科)後約會員



日

年

六

少し調子のちがふな来の無鉛白粉と

1と独自粉が流れ崩れたりしたものな、浴が出ま に感心してものは、浴が出ま

後りますから、一度室つた上へも う一度追かけて二重塗しましても う一度追かけて二重塗しましても がして際立つ事が無くよく附きま でして際立つ事が無くよく附きま 面を叩けば、白粉は一層よく落付 江薄く、顔の部分が

でし、下の駅から最新ではして、機合せるのが を組合せるのが でして、機合物が を組合せるのが

ワ 一粉の造み方 村宗十 郎 文郎十宗村澤 (庫文ワッミ) ではつて正に保護を致します。 だに成れば、願ひは経ちに白さに 気と増して、惟らくは理想以上の 変しさか現します。 是及税の管盤 されて正に保護を致します。 仕上てから白さが冴えまで車を御の特色は、塗つて居まで時よりは の特色は、塗つて居まで時よりは 時には、実思召して薄めて月ひる

順として標から塗始めま



(姿豪舞は後最)闘の 粧・化 てに 粉 白ワーサ(息丈郎十宗)丈 莚 松川 市形 花 の無い事でござ

大いに體力を

活動飛躍

「どりての」をお喫り

さい

今:

畑答用さして絶好的氣見舞その他の

充實させませら

◆ 上自城は宮崎市松同様に『附着と伸び』の良い無銀市林で すから、普通在来の無銀市林で

サーワ白粉は

五百

王大の界料飲・養滋・味美

育不良の子供― には先づ何 議の の發育をよくします。特にツハリでには絕好の滋養料、衰弱を防ぎ胎兒 やらに納まります

の榮養料と して絶好

精神、肉體の疲勞には

「どりての」は國民保健 「どりての」の聲價日に月に高まる も全く全國民の健康増進、健全な心身の發達を熱望養料であります。一瓶でも多く擴まれば、國民保健 諸權威は極力推奨され、各方面諸名家熱烈に賞讃、全國各地愛飲の方々からの感謝狀は真に山積の有様であります。

だお用ひにならぬ方は、何をおいてもゼヒ御試用下さい。必ずその効果に驚かれます。『どりこの』が消化を要さぬ天下無比の理想的滋養料である事は旣に有名なことですが には理想的の榮養料であります。を働かせないで直ちに體內に滋養分を吸收は是非お試み下さい。「どりこの」は胃膓 衰弱してゐる人々に、「どりこの」は何より及びその他の熱性諸病のために食慾不進、

トテモ

\$

への

終不振の人一済電分であります。 措いてもこれをお用ひ下さい、 コーヒーの代りにか用ひ下さい。六七倍の水または湯に薄めてか茶や な逆味、上記な香魚を有する立識な事好飲物です。「どりこの」は素晴しい激素料であると同時に、豊か 家庭 の飲料

美味しい飲み方

離乳兒

味と滋養を

◇カクテルに……入れたのも娯味があります。 ・・入れると遊婆像が常かします。使し生乳

事務繁忙、 運動、勞働等 受驗準備

健康の人もゼヒ御常用あれ が良いから高熱の時でも飲めて築養が攝れ 是非どりこの B (店理代總) 社會式株產物井三 ◇ 社會式株產物田住 ◇ 社會名合置玉

موص 2位10-0世

全國の信用ある藥店、

百貨店

圓二十錢

食料品店にあります











驚異的賣行には業界も販賣店も目を瞠つて居ります。…「どりこの」の評判は近頃益~非常なもので、その

しい貢献となる譯です。本社が眞剣に宣傳します

の滲む樣な苦心研究の結果發明された理想的の・・・「どりこの」は、醫學博士高橋孝太郎先生が血

...

D-102

小春日和つどく

きのふ大連神社で

適宜の措置を採らず看過

附近が電暖の姫く狙撃事性養生す一般地のわが第七十七職隊所願北野駐屯の日的が第七十七職隊所願北野・駐・中の日前公署

北野一等兵

觀菊御會

廿六日

狙撃さる

奉天城内で

人の如きは一人で一萬圓

しなったわけで、

おしたが、今二十四日の水産舎不沢、でたり、今二十四日の水産舎不沢、のこまれば問題がでたり、今二十四日の水産舎不沢、のは、一番のでは

再与满鐵線 横斷を覗ふ

土以哲部下の敗残兵

本 大阪神野により東南が山中へ憲人 が同じく元津まで飛揚げた 大阪神野により東南が山中へ憲人 が同じく元津まで飛揚げた まれば山城子に北力な集中と数百 メートル飯に歩喰を配き時び満畿 メートル飯に歩喰を配き時び満畿 オール・飯に歩吹を配き時び満畿 オートル飯に歩吹を配き時び満畿 中三日午前十時より搬覧神前に まり大菱が町に向へる一隊は窓大 サニ日午前十時より搬覧神前に なることに であるしの、城へである地方で開端 中三日午前十時より搬覧神前に なる ない に 大阪神野がより東南が山中へ憲人 が同じく元津まで飛揚げた 大阪神野が近より東南が山中へ憲人 が同じく元津まで飛揚げた 大阪神野が近より東南が山中へ憲人 が同じく元津まで飛揚げた

た 横へて 連二無一 単龍 江東を整接 は 連川 號外 な 養 行 蔵 字 新 版 な ご 筆

趙戴文氏 引揚

・に御決定あらせられた のうへ新磁物機において鑑さる のうへ新磁物機において鑑さる 引揚後の後始 の家財ど

統弾はその冠れる

運送貨物の

脱税を

圖

公文書、官印を偽造

学リーグ

大赤木、田部、井野川

0

佐藤久三郎

「君、滿洲は恐ろしく楽袋が解 いンだつてね」さ内地仕入れの いとだってね」さ内地仕入れの

大連へ上陸する

城

奥灰照代議士、衆驚選出の松谷

滿洲事變ご母國の空氣…

時局日誌·時事·資料·新刊紹介等

肇東縣の

が策器を鳴へてゐるなンて、ア東部を鳴へてゐた「アロ派の君」をいてるた。アロ派の君

御宴會は百人様まで預りも致します。

参拾銭より キリンピール 四拾銭参拾五銭より キリンピール 四拾銭

用下さい。特に沿線よりのお客様の領便宜の貸に御休息所さして御小荷物のお御家族連れの御招待や御商談事又は皆様方の御豊食、御晩餐などに御利田家族連れの御招待や御商談事又は皆様方の御豊食、御晩餐などに御利

力明大跳歌大野

掠奪を始む

臭くて感だネーさからかは

、選者發表

三部で百七十一點

廿四日から商議樓上で開

大は第三帳元本を少りに、第二帳が来なり、第七帳数があった。

『ハルビン二十三日後』ハルビン 南百二十六キロの安達より更に 南百二十五里の軽東縣の以人九十 名突妲郡守敷名を躰磬破家膝走掠 がを除始したので保衛廠ご突暖中 でて同地が振懐歌名を外容を放いた掠っ 大驅逐艦進水

てアチブル奥の乗録職に殴合 で、東京では、こうしてもこのでは、まないて機符を人大悟一番したが、こうしてもこのでは、こうしてもこのでは、こうしてもこのでは、こうしてもこのでは、こうにおいて機符を人大悟一番してアチブル奥の乗録職味に殴合

バー盗人

各所を跳梁

度御覧下さいませの描へました。一大年初めて込荷しましたコート地とし

THE SAME

総数よりも安上りになつた。で髪態家の結従さんにこって 綾(内地値歌) 大なの質職大な 本一本十

地逸品陳 列

廿五日より 電二二一四九 叉

連鐵街

レストランド

前

小山貞知 地番七町路淡市連大 番八五六一連大替振 料豆人大福鲜赤红鲜赤红鲜

電話六五四四番

界各 東京風菓子謹製 酒類 食 料品.

「支来人」字の番茶

15

かは焼八十銭 一圓卅錢

プダワル」 乾燥酵母

おでん 小鉢物 **鴻速町一の稲橋丁**

霞七四二九级

柳川なべ

金ぷら 野町

トから

市場が 員

は各件買人の配出来、その 間中は一定の試

所覧人の支援

が歴史を表して

の支援

が記述のに基いて

なる

脱外の取引は現金概させればなして水産會長が定めるがいこのにおける驚賞高き近膨胀態を拠 如何なる理由あるも経野にその てゐる、こころが大連魚市場 竹勢がついて、 北三銭七厘の利息を

來る廿八日に約百名

廣東の婦女子 内地引揚げ

壁が高いといればならぬこのは絶跡に助行されればならぬこの

根本的革正の聲揚る 仲買人の不拂から

代議士團と

金一圓也(晝食を含む) 遠的十射近的十射の豫定

大連西公園武徳會弓場に於て 紅長盃、滿鐵竹中 邸事面

8

鷹選手權大會

十一月一日午前正九時開始

各地名産

御中食

規則違反

(可認物便郵種三第

國際聯盟反

主催

滿洲日報社

全滿

弓道

工等白木弓一張へ水井氏脊鷺) 三等 -工等本社銀メダル・六等 - 十等本社銅メダル) 等大連市長盃、滿日社金メダル、

二日大盛況 織に配つた

後援

第氏は帰國ディーセ大で明みな歌とでいるない。 を明めて帰来を懷む、 一つか服に

客自の注意が希望されてゐる 出來、比較能監視の目がことがな いこころを視つて復行するので、

線束せらめたに學ん

溝

無養の秩父鬼で日本に現場げ? め邦人輪好子納百名は二十八□

大麻臓療行事、炭上艦艦の後一同大麻臓療行事、炭上艦艦の後一同奏樂神に眷席、佐蔵の後一同

り撃つた損害は次の姫 空滿同胞が支那既残兵

歌を擦持し廿四日無事北平に引揚 中に探しき者を登見逮捕せんさせ こになりが暇壁間氏十三名、観彩 中に探しき者を登見逮捕せんさせ 全を認るため、地を引き揚げる、 作業中これを見物し声りし支那人 全順の事代で北文製地の形人の安 るため同が面の照明を明るくする 人引揚ぐ 張家口の 御ቪ影ご共に北平へ 懸賞二萬元

東は俄に活象づき二萬元の懸賞階 お離代理馬出山氏を迎へた悪龍江政府 土氣を鼓舞してゐる一

全滿中等學校リーグ戦と共に 鐵の柔道大會

#刊 南京廣東妥協説の前途 支那紙論調の綜觀 上海抗日敦國會の對日經濟絕交案

あす大連道場で擧行 旅て全 たのみ五人對一にて帝大の雪辱成

致四

常中でも他の變

シャートルから砂糖に配った

東北に群生する諸政團 大塚介三

大佐夫妻

廿四日旅順で盛大に執行 務の神論明城の暗撃ちに巡捕及び同四月十四日夜 岩都磁星巡捕の二人を加へ九十五

> 線に避難せる者一千 が特に多い『長春電話』

殺され

九百名に達す

一の勝点を禁した凌水寺は今や州内第 一の勝点を禁してあるが突通不便 は常響概をすること、なった、特金 は常響概をすること、なった、特金 は常響概をすること、なった、特金 は常響概をすること、なった、特金 は常響概をすること、なった、特金 は常響板をすること、なった、特金 は常響板をすること、なった、特金

行方不明が四千五百名 百名──一萬三千餘名▲行方不明四千五

(株金) おいしい林檎は マルキタ日とり (株金) おいしい林檎は 「二、伊西江東南海南之戦」 「、瀬古忠魯克之戦」 「、東西江東南海南之戦」 「、東小道神、大瀬古忠魯克之戦」 「、東小道神、大瀬古 「大瀬山 「一、大瀬山 」 「一、大瀬山 「一、大瀬山 「一、大瀬山 」 「一、大瀬山 「一、大瀬山 」 「一、大瀬山 「一、大瀬山 」 「一、大瀬山

は を としてたらす、 高級とでは一人 出級とではらず、 高級とでは一人 との他會和リー 全部引揚ぐ 滿鐵出張員ら

全米消燈默禱

・ 正義た以て一貫ゼト ・ 無題 石は ・ 無題 石は ・ 無題 石は ・ 無題 石は 一、生命線確立運動 小山山真四氏不利・一大山山東三郎氏石村一誠一氏相川米太郎氏和川米太郎氏の小澤太上衛氏の大山東三郎氏

た同胞

つべき時間の「額及起つべき 大高唱するや、職業これに和する等事態な盛い。 大野に渡継左の娘と 大野に渡継左の娘と

秋の凌水寺へ

スペースーヨーク廿一日登 エギソン 新の軽機は本目ウエストオレン新の軽機は本目ウエストオレン うためフーバー大統領の求めにより全米の各家屋は午後十時より一

飛歌を 求めない でもいゝ ミ思ふ 聞いて下さいな」 を認め、云ふここをやつてゐる 「では、程もあなたのお願か聞い がはいから、この事については交の てあげるから、あなたもिの願か聞い を記らあい云ふここをやつてゐる 「では、程もあなたのお願か聞い

大連 1048

うさん、あなたは知つてゐるので

第一あなたの家で承知し

であれてことは出来ません」 を整木は繋ご云ふ酢薬ん酔いて を整木は繋ご云ふ酢薬ん酔いて をあけみが本心を関つてそんなこ たあけみが本心を関つてそんなこ たを云ひ出したのださも思つた。 また云の出したのださも思つた。

の兼待脚々愈

アカワーエフカの新軍!#見

明日生きんごする人は

十月二十四日から内容體裁共に革新大擴

今日を知り

惜しみなく贈る讃美の言葉 張をなし しかも氣品を失はず凡て現代人の理想に適したカフェーワカナ 來たれ ワカナのサービスに醉へ

自然に素直に鮮かな個性の持主たる美女たちの集り

誇りつく皆様の御來駕を御待あぐんで居ります紅紫とりぐ~の花達は五彩の衣をまとうで今や連鎖街リカナのサロンに吹き 近代の女性らしき新しい美の魅惑を持てするサービス!

階上ホール落成記念の為 向 週間

大

猛射する黄金の矢玉は 彼の男の胸に命中す

カフ・一エフ
苗三只奈三話電

連

『無代』にて

ワカナコーヒーの味ひを乞ふ

野想多

(88)

(N)